大学番号 私立27

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分: 学部の学科の設置

注1



作新学院大学 人間文化学部 発達教育学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 船田教育会 令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 総務課

電話番号 028-667-7111

(夜間) 028-670-3600

F A X 028-667-7110

e — mail soum@sakushin-u.ac.ip

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

• 大学院設置の場合:「○○大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間文化学部

<針	経達教育学科 >	^ °−	ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	2
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	6
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	18
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	19
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	2 C
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• ;	33
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• ;	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 船田教育会

- (2) 大 学 名 作新学院大学(発達教育学科)
- (3) 調査対象大学等の位置

〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町下東原908番地の4

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(フナダ ハジメ) 船田 元		
2 7 12	(平成13年3月22日)		
学 長	(ワタナベ ヒロシ) 渡邊 弘 (平成29年4月1日)		
学 部 長	(タマキ カナメ) 玉城 要 (平成29年4月1日)		
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和 2 年度に報告済の内容 → (2) 令和 3 年度に報告する内容 → (3)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・<u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。</u> その場合別ファイルを作成し提出してください。
 - ・ <u>様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1用 行
人間文化学部 発達教育学科 学士(人間文化学)	教育学・保育 学関係 ,	年 4	人 50	年次 0 人	人 200	新規入学者を 募集中	既存の人間文 化学部人間文 化学科を募集 停止し、分達 文化学科を設 費 で で で の で の の の の の の の の の の の の の の

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均入	開設年度から報告年	
区分	春季入学 その他の学規	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	学定員 超率	度の 文学 関本 関本	備 考
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	人 50	人 50	人 50	人 50			
A 入学定員	(-)	(-)	(-)	(
志願者数	55 (—) () [0] []	77 (-) ()	100 (-) () [0] []	79 (1) () [0] []			
受験者数	53 (—) ()	70 (—) () [1] []	99 (—) ()	78 (1) () [0]	0. 77	一倍	
合格者数	53 (-) () [0] []	68 (—) () [0] []	92 (—) () [0] []	75 (1) () [0]			
B 入学者数	32 (-) () [0] []	37 (-) () [0] []	54 (-) () [0] []	31 (1) () [0] []			
入学定員超過率 B/A	0. 64	0. 74	1.08	0. 62			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和 2	2 年度	令和	3年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	VIII	45
	33		37		54		31		令和2年度2年次生	編入生1名
1 年次	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]		
	(-)	()	(-)	()	(-)	()	(-)	()		
			26		35		50			
2年次			[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]		
			(-)	()	(-)	()	(-)	()		
0.5%					25		35			
3 年次					[-]	[]	[-]			
					(-)		24	()		
4 年次							Z4 	Г 1		
142							(-)	()		
	3	3	6	3	1	14	1	40		
計	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[-]		
A110 7 5 11 1	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-)		

- ・令和3年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		ナれる豊田市
45.5	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
対象年度			八子した牛皮		うち留学生数	
平成30年度	33 人	0 人	平成30年度	0 人	人	
令和元年度	63 人	3 人	平成30年度	3 人	人	他の教育機関への入学・転学3名
节和几千度	00 X	3 X	令和元年度	人	人	
			平成30年度	1人	人	就職
令和2年度	114 人	2 人	令和元年度	1人	人	除籍
			令和2年度	人	人	
			平成30年度	1人	人	除籍
令和3年度	140 人	5 人	令和元年度	人	人	
市和3千尺	140 人	3 人	令和2年度	4 人	人	除籍1名、就職2名、経済上の理由1名
			令和3年度	人	人	
合 計		10 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

【平成30年度の退学者数(a) = 0 9 平成30年度の在学者数(b) 33 = 0 9

【令和元年度】

 令和元年度の退学者数(a)
 =
 3
 =
 4.76
 %

 令和元年度の在学者数(b)
 63
 63
 4.76
 %

 令和2年度の退学者数(a)
 =
 2
 =
 1.75

 令和2年度の在学者数(b)
 114
 =
 1.75

【令和3年度の退学者数(a) = <u>5</u> = 3.57 % %

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<人間文化学部 発達教育学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

	8り 时又は 曲田中												が和る年度』										
74 D		配		单位数				員等			兼任	7.1 D		配		单位数				員等			兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
共通教育科目/初期導入・リテラシー 教育科目	基英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英英	1前後 1後 1後 1後 1後 1後 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	修 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2		<u></u>	授222	授 1	<u></u>	<u>教</u>	手	担 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	共通教育科目/初期導入・リテラシー 教育科目	基英英語品名(1ミュニケーション) 一ル記 基英英語品名(1ミュニケーション) 大英語語名(1ミュニケーション) 大英語語名(1ミュニケーション) 日本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本	1前後 1後前後前 26 26	修 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2	択	<u>由</u>	授 3 1 1 1 1 2	授 1	<u>師</u>	<u>教</u>	<u>手</u>	担 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
共通教育科目/教養教育科目	哲心歴文デ憲マ数統統環情科ジ健現現現と日日初初初初中中初初初初初中中字理史学ザ法ス学計計境報学工康代代代ち本本級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級	11-2前11-2 11-2 11-2 11-2 11-2 11-2 11-2		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					兼 兼兼兼兼 兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	共通教育科目/教養教育科目	心歴文デ憲マ数統統環情科ジ健現現現と日日初初初初中中初初初初初中学学 イ入コ 学学論と・技ダス会会学情情シンフフフ中中中中中学 ン門論 12 社技ダス会会学情情シンシンラ国国国国国国 8 日本の大学・ 12 日本・ 12 日	11-2前前後後後前11-2前前後後後後前11-2前前後後後後前11-2前前後後後後前11-2前前後後前11-2前後前11-2前後前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1		1					兼兼 兼兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼

			È	単位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区分	22411211211		修	択	曲	授	教授	師	教	手	兼
	<u> </u> 初級韓国語1−1	1前	18	1八	Н	按	按	Pili	叙	士	<u>担</u>
	初級韓国語1-2	1後		1							兼1
	初級韓国語2−1	2前		1							兼1
	初級韓国語2-2	2後		1							兼1
共	中級韓国語1 中級韓国語2	3·4前 3·4後		1							兼1 兼1
通	英語C1	2·3·4前		i							兼1
教育	英語C2	2·3·4後		1							兼1
科	英語D1	2-3-4前		1							兼1
目	英語D2 英語E1	2-3-4後		1							兼1 兼1
*/-	英語E2	2·3·4後		1							兼1
教養	自主科目A	1-2-3-4		2		1					
教	自主科目B	1.2.3.4		2		1					
育	自主科目C 海外研修A	1-2-3-4街		2		1					
科目	海外研修B	1-2-3-4後		2		1					
н	海外研修C	1-2-3-4後		2		1					
	海外研修D	1-2-3-4後		2		1					
	小計(86科目)	-									
	教職論(小・中・高) 教育原理(小・中・高)	1·2前 1·2後	2			1					
	教育の制度と社会(小・中・高)	1·2後 2·3前	2			1					
	教育心理学(小·中·高)	1.2前	2			1					
	教職実践演習(小・中・高)	4後	2			3					
	教育課程論(小·中·高) 道徳指導法(小·中·高)	2後 2·3前	2			1					
	理(総括等法(小・中・高) 特別活動指導法(小・中・高)	2·3削 2·3前	2			2					
	教育方法論(小・中・高)	2・3前	2			1					
専	生徒指導と進路指導(小・中・高)	2·3前	2			1					兼1
門	教育相談(小・中・高)	2後 2·3·4後	2			2					
教育	小学校国語(書写を含む)	1-2-3-4後	2			1					
科	小学校社会	1-2-3-4後	2			ľ					兼1
目	小学校算数	1・2・3・4前	2			1					
/ æ	小学校理科 小学校生活	1-2-3-4前	2	2		1					
発達	小子校主活 小学校音楽	1-2-3-4後		2		1					兼1
教	小学校図画工作	1・2・3・4前		2		1					NK.
育	小学校家庭	1-2-3-4前		2							兼1
系科	小学校体育 生涯学習概論	1・2・3・4前		2							兼1 兼1
117	エル土 丁 日 19人 nmi 外国語活動に関する指導法 (初等)	3.4前	2								兼1
/	発達心理学	2·3前	2								兼1
初	特別支援教育総論	1後	2			2	1				·
等教	知的障害児教育総論 知的障害の発達心理学	2·3後 2·3前	2			1					兼1
育	国語科教育法(初等)	2.3前	2			1					
専	社会科教育法(初等)	2・3前	2			1					兼1
門和	算数科教育法(初等)	1-2-3後	2			١					兼1
科目	理科教育法(初等) 生活科教育法(初等)	1·2·3後 2·3前	2	2		1					兼1
1	音楽科教育法(初等)	2.3削		2							兼1
	図画工作科教育法(初等)	1・2・3後		2		1					
	家庭科教育法(初等)	1・2・3後		2							兼1
	体育科教育法(初等) 教職初期指導	1·2·3後 1後		2		2					兼1
	教職総合指導	I 1 友 2·3前	2			2					
	教職実践研究(小・中・高)	3後	-	2		3					
	教育実習事前事後指導(初等)	3後		1		2					
専	小学校教育実習 知的障害児·者心理学	3後 2·3前	-	2		1					兼1
7門教育科	知的障害児·者生理心理学	2·3削 2·3後		2							兼1
育科目	知的障害の認知心理学	2·3前		2							兼1
目 / 発	視覚障害教育	2·3後		2							兼1
谁	聴覚障害者教育総論 肢体不自由者教育総論	2·3前 2·3後		1 2							兼1 兼1
教育系	病弱教育	2·3佞 2·3前		2							兼1
科目	重複障害教育	2・3前		2							兼1
/ 口特	言語障害教育	2・3前		1			1				兼1
Sul	発達障害児の心理と教育 知的障害児教育法1	2·3後		2			1				
支 援 教	知的障害児教育法1	3前 3後		2		1					
教育専門	知的障害児教育課程論	31女 2·3後		2							兼1
門科	特別支援学校教育実習事前事後指導	4前		1		1	1 1				兼1
目	特別支援学校教育実習	4前		2							

		3 7	<u>È</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
区分	汉来行口切石师	年次	W	+0	4	1400	教	ΑΞ	±/-	-	兼
	 初級韓国語1-1		修	択	由	授	授	師	教	手	担
	初級韓国語1-2	1前 1後		1							兼
	初級韓国語2-1	2前		l i							兼
	初級韓国語2−2	2後		1							兼
共	中級韓国語1	3·4前		1							兼
通	中級韓国語2	3.4後		1							兼
教	英語C1 英語C2	2-3-4前		1							
育	英語D1	2・3・4前		li							
科目	英語D2	2・3・4後		1							
	英語E1	2・3・4前		1							
教	英語E2 自主科目A	2·3·4後 1·2·3·4		1 2		1					
養	自主科目B	1.2.3.4		2		1					
教育	自主科目C	1-2-3-4		2		i					
科	海外研修A	1-2-3-4後		2		1					
目	海外研修B	1-2-3-4後		2		1					
	海外研修C 海外研修D	1-2-3-4後		2		1					
	小計(86科目)	1-2-3-496									_
	教職論(小・中・高)	1・2前	2				1				_
	教育原理(小・中・高)	1.2後	2			1	'				
	教育の制度と社会(小・中・高)	2·3前	2				1				
	教育心理学(小・中・高)	1・2前	2			1					
	教職実践演習(小·中·高) 教育課程論(小·中·高)	4後 2後	2			3	4				
	道徳指導法(小・中・高)	21 友 2·3前	2			1	1				
	特別活動指導法(小・中・高)	2·3前	2				1				
	教育方法論(小・中・高)	2・3前	2				1				
専	生徒指導と進路指導(小・中・高)	2·3前	2			1					兼
門教	教育相談(小・中・高)	2後 2·3·4後	2			1	1				
Ý	小学校国語(書写を含む)	1-2-3-4後	2			i					
科	小学校社会	1-2-3-4後	2								兼
目	小学校算数	1-2-3-4前	2			1					
~	小学校理科	1-2-3-4前	2			1					
発達	小学校生活 小学校音楽	1-2-3-4後		2		1					兼
教	小学校図画工作	1-2-3-4前		2		1					AK.
育	小学校家庭	1-2-3-4前		2							兼
系	小学校体育	1-2-3-4前		2							兼
科目	生涯学習概論 外国語活動に関する指導法 (初等)	1-2-3-4後	_	2							兼
	発達心理学	3·4前 2·3前	2								兼兼
<i>,</i> 初	特別支援教育総論					1					1
等	知的障害児教育総論	2·3後	2								兼
教	知的障害の発達心理学	2・3前	2			1					
育専	国語科教育法(初等) 社会科教育法(初等)	2·3前 2·3前	2			1					兼
門	算数科教育法(初等)	1.2.3後	2			'					兼
科	理科教育法(初等)	1・2・3後	2			1					-115
目	生活科教育法(初等)	2·3前		2							兼
	音楽科教育法(初等) 図画工作科教育法(初等)	2·3前 1·2·3後		2							兼
	家庭科教育法(初等)	1-2-3後		2		1					兼
	体育科教育法(初等)	1・2・3後		2							兼
	教職初期指導	1後		2		1					
	教職総合指導	2・3前	2	_		2					
	教職実践研究(小·中·高) 教育実習事前事後指導(初等)	3後 3後		2		2 2					
	小学校教育実習	3後		4		2					
専門	知的障害児·者心理学	2·3前		2							兼
教育	知的障害児・者生理心理学	2·3後		2							兼
科目	知的障害の認知心理学 視覚障害教育	2·3前 2·3後		2							兼兼
/ 発 達	祝見陴吉教育 聴覚障害者教育総論	2·3後 2·3前		1							兼
運 教 育 系	肢体不自由者教育総論	2·3後		2							兼
科	病弱教育	2・3前		2							兼
_ I	重複障害教育	2・3前		2							兼
口 特 別	言語障害教育 発達障害児の心理と教育	2·3前 2·3後		1 2		1					兼
91	知的障害児教育法1	3前		2		1					
支担		3後		2		1					I
支援	知的障害児教育法2	31友									
支援教育専門	知的障害児教育課程論	2·3後		2							兼
支援教育専				2 1 2		1	1				兼兼

			È	单位数	友	専	任教	員等	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	配当都次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区分			W	+	_	1777	教授	Α Ξ	*-	_	兼
			修	択	由	授	按	師	教	手	担
	日本語学概論A 日本語学概論B	1·2前 1·2後	2			1					
	日本語子概論B 日本語文法A		2	_		-					
専	日本語文法B	1·2前 1·2後		2		1					
門	文章表現法	2・3後	2			'					兼1
教	ス ^章 衣玩広 日本人の言語史A	2.3版		2							兼1
育	日本人の言語史B	2・3後		2							兼1
科	日本文学史A	1.2前	2								兼1
目	日本文学史B	1・2後	2			1					ж I
/	日本文学史C	2·3前	_	2		'					兼1
発	日本文学史D	2·3後		2							兼1
達	日本古典文学研究A	2·3前		2							兼1
教	日本古典文学研究B	2·3後		2							兼1
育	日本近代文学研究A	2・3前		2							兼1
系	日本近代文学研究B	2·3後		2							兼1
科口	日本近代文学研究C	2·3前		2							兼1
目	日本近代文学研究D	2·3後		2							兼1
中	漢文学概論A	1・2前	2			1					
等	漢文学概論B	1・2後	2			1					
教	書道A	1-2-3前	1								兼1
育	書道B	1-2-3後		1							兼1
専	国語科教育法1	2前		2							兼1
菛	国語科教育法2	2後		2							兼1
科	国語科教育法3	3前		2							兼1
目目	国語科教育法4	3後		2							兼1
	教育実習事前事後指導(中·高)	4前		1		1					
	高等学校教育実習	4前		2		1					
亩	中学校教育実習	4前	_	4		2	_				* .
専門	専門演習A	2前	2	l		2	1		l		兼4
教育	専門演習B 専門演習C	2後	2			3	١.				兼5 ** 4
科	専門演習D 専門演習D	3前	2			2	1				兼4 * 5
目 専	専門演習D 卒論指導演習1	3後 4前	2 2			5	1				兼5 兼8
對	卒論指導演習2	4削 4後	2			5 5					来8 兼8
育科	卒業論文	4夜 4後	8			5					兼8
В	1 2/2 HIND 22	TIX	ľ			ľ	'				720
	小計(91科目)	-									
1	合計(177科目)	-									

卒業要件及び履修方法

卒業要件 学生は、当該学部の定める次の区分により授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。 ア. 共通教育科目は、必修科目を含め40単位以上 イ. 専門教育科目は、必修科目を含め97単位以上 履修方法 履修科目の登録の上限:年間44単位(半期22単位)まで

		配	È	单位数	攵	専	任教	員等	の配	置	兼
科目	17 dt 7 1 7 - 5 7 L	当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
区分	授業科目の名称	年	~	~	_	32	教	HIT	->,	->,	•
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼扣
-	┃ ┃日本語学概論A	1・2前	2	3/1	Н	1	1/2	Hills	37	,	1브
	日本語学概論B	1・2街	2			1					
	日本語子城論B 日本語文法A			_		1					
専	日本語文法B	1.2前		2		-					
門		1.2後	_	2		1					
教	文章表現法	2·3後	2	_		1					兼1
育	日本人の言語史A	2·3前		2							兼1
科	日本人の言語史B	2·3後	_	2							兼1
目	日本文学史A	1・2前	2								兼1
	日本文学史B	1·2後	2			1					
×	日本文学史C	2・3前		2							兼1
発達	日本文学史D	2·3後		2							兼1
教	日本古典文学研究A	2·3前		2							兼1
育	日本古典文学研究B	2·3後		2							兼1
月	日本近代文学研究A	2·3前		2							兼1
系科	日本近代文学研究B	2·3後		2							兼1
科口	日本近代文学研究C	2·3前		2							兼1
目	日本近代文学研究D	2·3後		2							兼1
_	漢文学概論A	1・2前	2	_		1) IIC .
中	漢文学概論B	1・2後	2			1					
等	書道A	1-2-3前	1								兼1
教	書道B	1-2-3後		1							兼1
育	国語科教育法1	2前		2		1					\ \ \
専	国語科教育法2	2後		2		٠.					兼1
門	国語科教育法3	3前		2		1					ж I
科	国語科教育法4	3後		2		'					兼1
目	型品 174 X 月 /五 4 教育実習事前事後指導(中·高)					4					ボリ
	高等学校教育実習	4前		1		1					
		4前		2		1 2					
専	中学校教育実習 専門演習A	4前	-	4							± 4
門	専門演習A 専門演習B	2前	2			3					兼4
教育		2後	2			3					兼5
科	専門演習C	3前	2			3	İ		İ	İ	兼4
- 目	専門演習D	3後	2			3	<u> </u>				兼5
PP	卒論指導演習1	4前	2			3	1		İ	İ	兼4
教育科	卒論指導演習2	4後	2			5	1		İ	İ	兼4
目	卒業論文	4後	8			5	1		l	l	兼3
<u> </u>											Щ
	小計(91科目)	-					l		l	l	
	合計(177科目)	-									
							ı		ı	ı	

卒業要件及び履修方法

卒業要件 学生は、当該学部の定める次の区分により授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。 ア. 共通教育科目は、必修科目を含め40単位以上 イ. 専門教育科目は、必修科目を含め97単位以上 履修方法 履修科目の登録の上限:年間44単位(半期22単位)まで

[3	平成30年度】											[4	介和元年度 】										
		配		単位数	ř –	_	1	人 日 1-#			兼			配		単位数					の配		兼任
科目区分		当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	• 兼	科目区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	· 兼
共通教育科目/初期導入・リテラシー教育科目	基基 英語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語語	11112211221111222211221111111111 1	2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2	<u> </u>	1 1 1 1 1 2 5	1	Bit	TX.	7	担 兼2 兼3 兼3 兼4 兼4 兼3 兼3 兼3 兼3 兼3 兼3 兼3 兼3 兼3 兼3	共通教育科目/初期導入・リテラシー教育科目	基英英英英英 英	1111221112211122211122211111111111111	2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u> </u>	3 2 1 1 1 1 1 2	1	Bill	TX.	7	担 (東東東東東 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東
共通教育科目/教養教育科目	心歴文デ憲マ数統統環情科ジ健現現現と日日初初初初中中初初初初初中中初初初初初中中英英理史学ザ法ス学計計境報学工康代代代ち本本級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級	1-2前1-2前1-2 1-2前1-2 1-2 1-2 1-2 1-2 1-2 1-2 1-2 1-2 1-2		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					、 兼兼兼兼 兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼	共通教育科目/教養教育科目	心歴文デ憲マ数統統環情科ジ健現現現と日日初初初初中中初初初初初中中初初初初初中中英英・理史学ザ法ス学計計境報学ェ康代代代ち本本級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級級	1.2前10 1 1.2 1 1.2 1 1.2 1 1.2 1 1.2 1 1.2 2 2 2		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1		1					· 兼 兼兼 兼兼 兼兼兼兼兼兼兼兼兼 兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
巨刀		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
共	英語D1	2-3-4前		1							兼1
通教	英語D2 英語E1	2-3-4後		1							兼1
育	英語E2	2-3-4削		1							兼1 兼1
科目	自主科目A	1.2.3.4		2		1					NK 1
タ 教	自主科目B	1-2-3-4		2		1					
養	自主科目C 海外研修A	1-2-3-4街		2		1					
教育	海外研修B	1-2-3-4後		2		1					
科	海外研修C	1-2-3-4後		2		1					
目	海外研修D	1-2-3-4後		2		1					
	小計(86科目)	-									
	教職論(小·中·高) 教育原理(小·中·高)	1·2前 1·2後	2			1					
	教育の制度と社会(小・中・高)	2·3前	2			1					
	教育心理学(小・中・高)	1・2前	2			1					
	教職実践演習(小·中·高) 教育課程論(小·中·高)	4後	2			3					
Ī	道徳指導法(小・中・高)	2後 2·3前	2			1					
	特別活動指導法(小·中·高)	2·3前	2			2					
l	教育方法論(小・中・高)	2・3前	2			1					→ .
専門	生徒指導と進路指導(小・中・高) 教育相談(小・中・高)	2·3前 2後	2			1 2					兼1
教	お 日 1口 DX (7) ・ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	21久 2·3·4後	2			1					
育	小学校国語(書写を含む)	1-2-3-4後	2			1					
科	小学校社会	1-2-3-4後	2								兼1
目/	小学校算数 小学校理科	1-2-3-4前	2			1					
発	小学校生活	1-2-3-4後	_	2		1					
達	小学校音楽	1-2-3-4後		2							兼1
教育	小学校図画工作 小学校家庭	1・2・3・4前		2		1					兼1
系	小学校体育	1-2-3-4前		2							兼1
科	生涯学習概論	1・2・3・4後		2							兼1
目	外国語活動に関する指導法(初等)	3・4前	2								兼1
初	発達心理学 特別支援教育総論	2·3前 1後	2			2	1				兼1
等	知的障害児教育総論	2·3後	2			_	'				兼1
教	知的障害の発達心理学	2・3前	2			1					
育専	国語科教育法(初等)	2・3前	2			1					→ .
門門	社会科教育法(初等) 算数科教育法(初等)	2・3前	2			1					兼1 兼1
科	理科教育法(初等)	1・2・3後	2			1					NK I
目	生活科教育法(初等)	2・3前		2							兼1
1	音楽科教育法(初等) 図画工作科教育法(初等)	2・3前		2							兼1
1	家庭科教育法(初等)	1-2-3後		2		Ι'					兼1
	体育科教育法(初等)	1・2・3後		2							兼1
Ī	教職初期指導	1後		2		2					
Ī	教職総合指導 _{教職実践研究(小・中・高)}	2·3前 3後	2	2		2					
	教育実習事前事後指導(初等)	3後		1		2					
L	小学校教育実習	3後		4		1					,
専門教	知的障害児·者心理学 知的障害児·者生理心理学	2.3前		2							兼1
教 育 科 目	知的障害の認知心理学	2·3後 2·3前		2							兼1 兼1
	視覚障害教育	2·3後		2							兼1
/ 発達教	聴覚障害者教育総論	2・3前		1							兼1
教育系科	肢体不自由者教育総論 病弱教育	2·3後 2·3前		2							兼1 兼1
科目	重複障害教育	2.3前		2							兼1
_	言語障害教育	2·3前		1			1				兼1
特 別 支	発達障害児の心理と教育	2·3後		2		١.	1				
支 援 教	知的障害児教育法1 知的障害児教育法2	3前 3後		2		1					
育専門	知的障害児教育課程論	31友 2·3後		2		Ι΄.					兼1
料目	特別支援学校教育実習事前事後指導	4前		1		1	1				兼1
Ħ	特別支援学校教育実習	4前		2		1	1				

		配	į	单位数	Į.	車	任教	員等	の配	置	兼
科目		当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
区分	授業科目の名称	年	~	~	_	,,,	教	н.,		-33	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
共	英語D1	2·3·4前		1							兼1
通	英語D2	2・3・4後		1							兼1
教育	英語E1	2・3・4前		1							兼1
科	英語E2	2-3-4後		1							兼1
目	自主科目A	1-2-3-4		2		1					
/ #L	自主科目B	1-2-3-4		2		1					
教養	自主科目C	1-2-3-4		2		1					
教	海外研修A	1-2-3-4後		2		1					
育	海外研修B	1-2-3-4後		2		1					
科目	海外研修C	1-2-3-4後		2		1					
	海外研修D	1-2-3-4後		2		1					
	小計(86科目)	-									
	教職論(小・中・高)	1・2前	2			1					
	教育原理(小・中・高)	1·2後	2			1					
	教育の制度と社会(小・中・高)	2・3前	2			1					
	教育心理学(小・中・高)	1・2前	2			1					
	教職実践演習(小・中・高)	4後	2			3					
	教育課程論(小・中・高)	2後	2			1					
	道徳指導法(小・中・高)	2・3前	2			1					
	特別活動指導法(小・中・高)	2・3前	2			2					
1	教育方法論(小・中・高)	2・3前	2			1			l		→
専	生徒指導と進路指導(小・中・高)	2·3前	2			1					兼1
門	教育相談(小・中・高)	2後	2			2					
教	総合的な学習に関する指導法(小・中・高)	2・3・4後	2			1					
育	小学校国語(書写を含む)		2			1					* 1
科	小学校社会	1-2-3-4後	2								兼1
目	小学校算数 小学校理科	1-2-3-4前	2			1					
発	小学校生活	1-2-3-4衡	2	2		1					
達	小学校音楽	1-2-3-4後		2		'					兼1
教	小学校図画工作	1-2-3-4個		2		1					ボリ
育	小学校家庭	1-2-3-4前		2							兼1
系	小学校体育	1-2-3-4前		2							兼1
科	生涯学習概論	1-2-3-4後		2							兼1
1	外国語活動に関する指導法 (初等)	3·4前	2	_							兼1
	発達心理学	2・3前	2								兼1
初	特別支援教育総論	1後	2			3	4				11
等	知的障害児教育総論	2·3後	2			•	•				兼1
教	知的障害の発達心理学	2・3前	2			1) IIC .
育	国語科教育法(初等)	2・3前	2			1					
専	社会科教育法(初等)	2・3前	2			1					兼1
門	算数科教育法(初等)	1・2・3後	2								兼1
科	理科教育法(初等)	1・2・3後	2			1					
目	生活科教育法(初等)	2·3前		2							兼1
	音楽科教育法(初等)	2・3前		2							兼1
	図画工作科教育法(初等)	1-2-3後		2		1					
1	家庭科教育法(初等)	1・2・3後		2							兼1
1	体育科教育法(初等)	1・2・3後		2							兼1
1	教職初期指導	1後		2		2		l		l	
1	教職総合指導	2·3前	2			2					
1	教職実践研究(小・中・高)	3後		2		3		l		l	
1	教育実習事前事後指導(初等)	3後		1		2					
	小学校教育実習	3後		4		1					
専門	知的障害児·者心理学	2・3前		2					l		兼1
教育	知的障害児・者生理心理学			2				l		l	兼1
科目	知的障害の認知心理学	2・3前		2					l		兼1
発	視覚障害教育	2·3後		2				l		l	兼1
達	聴覚障害者教育総論	2・3前		1					l		兼1
教育	肢体不自由者教育総論	2.3後		2				l		l	兼1
系科	病弱教育	2・3前		2							兼1
II /	重複障害教育	2・3前		2		_	_	l		l	兼1
特	言語障害教育	2・3前		1		1	1				兼1
別支	発達障害児の心理と教育	2・3後		2		1	1		l		
援教	知的障害児教育法1	3前		2		1					
育専	知的障害児教育法2	3後		2		1		l		l	# 4
門	知的障害児教育課程論 特別支援学校教育実習事前事後指導	2·3後 4 新		2			4				兼1
門 科 目	特別支援学校教育実習事前事後指導特別支援学校教育実習	4前		1		2	1	l		l	兼1
L	时则义扳子仪仪育美省	4前		2		2	4				

			È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区刀			修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	日本語学概論A	1・2前	2			1					
	日本語学概論B	1.2後	2			1					
車	日本語文法A	1・2前		2		1					
門門	日本語文法B	1·2後		2		1					
教	文章表現法	2·3後	2								兼1
育	日本人の言語史A	2·3前		2							兼1
科	日本人の言語史B	2·3後		2							兼1
目	日本文学史A	1・2前	2								兼1
	日本文学史B	1.2後	2	_		1					٠. ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
発	日本文学史C	2・3前		2							兼1
達	日本文学史D	2·3後		2							兼1
教	日本古典文学研究A	2・3前		2							兼1
育	日本古典文学研究B	2·3後		2							兼1
系	日本近代文学研究A	2·3前		2							兼1
科	日本近代文学研究B	2·3後		2							兼1
目	日本近代文学研究C	2·3前		2							兼1
/	日本近代文学研究D	2·3後		2							兼1
中	漢文学概論A	1・2前	2			1					
等	漢文学概論B	1・2後	2			1					٠. ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
教	書道A	1-2-3前	1								兼1
育	書道B	1・2・3後		1							兼1
専	国語科教育法1	2前		2							兼1
門	国語科教育法2	2後		2							兼1
科	国語科教育法3	3前		2							兼1
目	国語科教育法4 教育実習事前事後指導(中·高)	3後		2		4					兼1
	高等学校教育実習	4前 4前		2		1					
	中学校教育実習	4削 4前		4		2					
専	専門演習A	2前	2	4		2	1				兼4
門教	専門演習B	2後	2			3	l '				兼5
育	専門演習C	3前	2			2	1				兼4
科目	専門演習D	3後	2	l		3	Ι΄.				兼5
102	卒論指導演習1	4前	2			5	1				兼8
教育	卒論指導演習2	4後	2			5	i				兼8
科目	卒業論文	4後	8			5	i				兼8
	小計(91科目)	-									
	合計(177科目)	-									

及び履修方法	

_ 卒業要件

- ホスー 学生は、当該学部の定める次の区分により授業科目を履修し、その単位を修得し チェル、コニティン なければならない。 ア. 共通教育科目は、必修科目を含め40単位以上 イ. 専門教育科目は、必修科目を含め97単位以上

履修科目の登録の上限:年間44単位(半期22単位)まで

			È	单位数	攵	専	任教	員等	の配	置	兼
科目区分	授業科目の名称	配当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
ΔЛ		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	日本語学概論A	1.2前	2			1					
	日本語学概論B	1·2後	2			1					
	日本語文法A	1・2前		2		1					
専	日本語文法B	1·2後		2		1					
門	文章表現法	2·3後	2			1					兼1
教	日本人の言語史A	2·3前		2							兼1
育	日本人の言語史B	2·3後		2							兼1
科	日本文学史A	1・2前	2								兼1
目	日本文学史B	1·2後	2			1					
2	日本文学史C	2·3前		2							兼1
発	日本文学史D	2·3後		2							兼1
達	日本古典文学研究A	2·3前		2							兼1
教	日本古典文学研究B	2·3後		2							兼1
育系	日本近代文学研究A	2・3前		2							兼1
科	日本近代文学研究B	2·3後		2							兼1
	日本近代文学研究C	2·3前		2							兼1
目/	日本近代文学研究D	2·3後		2							兼1
中	漢文学概論A	1・2前	2	_		1					2114
等	漢文学概論B	1·2後	2			1					
教	書道A	1-2-3前	1								兼1
育	書道B	1-2-3後		1							兼1
専	国語科教育法1	2前		2							兼1
門門	国語科教育法2	2後		2							兼1
科	国語科教育法3	3前		2							兼1
目	国語科教育法4	3後		2							兼1
	教育実習事前事後指導(中·高)	4前		1		1					2114
	高等学校教育実習	4前		2		1					
	中学校教育実習	4前		4		2					
専	専門演習A	2前	2			3	1				兼3
門教	専門演習B	2後	2			2					兼6
育	専門演習C	3前	2			3	1				兼3
科目	専門演習D	3後	2			2					兼6
専	卒論指導演習1	4前	2			5					兼9
教育	卒論指導演習2	4後	2			5		l	l		兼9
育科目	卒業論文	4後	8			5		l	l		兼9
	小計(91科目)	-									
	合計(177科目)	-									

卒業要件及び履修方法

_ 卒業要件

学生は、当該学部の定める次の区分により授業科目を履修し、その単位を修得し チェルス コニティン なければならない。 ア. 共通教育科目は、必修科目を含め40単位以上 イ. 専門教育科目は、必修科目を含め97単位以上

履修科目の登録の上限:年間44単位(半期22単位)まで

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【令和2年度】

		配	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
		次	修	択	田	授	教授	師	教	手	兼担
	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2	1前 1後	2			3	1				兼2 ** 0
	基礎でミノール2 英語A1(文法・語彙)	1伎 1前	2			2	'				兼2 兼3
	英語A2(文法·語彙)	1後	1								兼3
	英語A3(英文講読) 英語A4(英文講読)	2前 2後	1								兼4 兼4
	英語B1(コミュニケーション)	1前	1								兼3
共通	英語B2(コミュニケーション)	1後	1								兼3
教	英語B3(コミュニケーション) 英語B4(コミュニケーション)	2前 2後		1							乗1 兼1
育科	日本語A1a	1前		1		4					兼1
目	日本語A1b 日本語A2a	1前 1後		1		4					兼1 兼1
初	日本語A2b	1後		1							兼1
期	日本語A3a 日本語A3b	2前		1							兼1
導	日本語A3b 日本語A4a	2前 2後		1							兼1 兼1
入	日本語A4b	2後		1							兼1
IJ	日本語B1 日本語B2	1前 1後	1								兼1 兼1
テラシ	日本語B3	2前	1			4					兼1
	日本語B4	2後	1			4					兼1
教	日本語表現法1 日本語表現法2	1前 1後	2	2		1					兼1 兼1
育	コンピュータリテラシー1	1前	2			2					兼2
科	コンピュータリテラシー2 スポーツ科学実技A1	1後 1前	1	2							兼4 兼4
目	スポーツ科学実技A2	1後	1								兼4
	スポーツ科学実技B	1•2前		1							兼1 **
	スポーツ科学実技C キャリアデザイン1	1·2後 1後	2	1							兼3 兼1
	キャリアデザイン2	3前・後	2								兼1
	プレインターンシップ インターンシップ	2前·後 3前·後	2	2		7	4				兼20 兼5
	哲学	1•2前		2							兼1
	心理学 歴史学	1・2前 1・2前		2		1					兼1
共	文学	1・2後		2							兼1
通教	デザイン論	1・2後		2		1					兼 1
育	憲法入門マスコミ論	1·2後 1·2後		2							兼1 兼1
科目	数学	1・2前		2		1					
/	統計学1 統計学2	1·2前 1·2後		2		1					
教養	環境論	1・2後		2		l					兼1
教	情報と社会 科学・技術論	1・2前		2							兼1
育科	科子・技術調 ジェンダー論	1·2前 1·2後		2							兼1 兼1
目目	健康・スポーツ概論	1・2前		2							兼1
-	現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B	1·2前 1·2前		2		1					兼1 兼1
	現代社会の諸問題C	1・2前		2		ļ .					兼1
	とちぎ学	1・2後		2							兼2
	日本事情A 日本事情B	1·2前 1·2後		2		1					
	初級フランス語1-1	1前		1							兼1
	初級フランス語1-2 初級フランス語2-1	1後 2前		1							兼1 兼1
	初級フランス語2-2	2 別 2後		1							兼1
	中級フランス語1	3・4前		1							兼1
	中級フランス語2 初級中国語1-1	3·4後 1前		1		1					兼1
	初級中国語1-2	1後		1		1					
	初級中国語2-1 初級中国語2-2	2前 2後		1		1					
	中級中国語1	21夕 3·4前		1		1					
	中級中国語2	3·4後		1		1					

日子 日子 日子 日子 日子 日子 日子 日子			#1	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
一型		授業科目の名称		必	選	自	教		講	助	助	任・
別数韓国語1-1 1前	区分			修	択	由	授		師	教	手	
新生物					1							兼1
新生物 1 1 1 1 1 1 1 1 1												
中級韓国語												-114
通数	#											
数字												兼1
(元)	教				-							業1
					-							兼1
英語E1 2-3-8			2·3·4後									兼1
日主科目日	/											栗1 姜1
### 1							1					NK.
再外研修		1										
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##							-					
海外研修D							-					
小計(86科目)			1-2-3-4後									
教職 ((() 中 () 一 () 一 () 一 () 2			1-2-3-4後		2		1					
教育原理(小·中·高) 1-2號 2 1 1 2			-	•			4	4				
								'				
数職実践演習(小・中・高) 4後 2 3 3 4 4 3 3 3 4 3 3		教育の制度と社会(小・中・高)										兼1
教育課程論(小・中・高) 道徳指導法(小・中・高) 2 2 3 2 2 1 1 2 3 3 2 2 3 3 3 4 3 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3												
道德指導法(小·中·高) 2-3前 2				_								# 1
東							-					ΔK .
専												兼1
下	亩											亊1
1												NK I
1												
日							1					-
予報							1					JK.I
達	/		1-2-3-4前	2								
数							1					並1
育							1					ボー
1	育		1-2-3-4前									
日												
一				2	2							-114
等 知的障害児教育総論 2・3後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	/			2								兼1
和的障害の発達心理学 2・3前 2 1 1							3	4				* 1
国語科教育法(初等) 2・3前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1							1					ボリ
型数科教育法(初等)												
理利教育法(初等) 12-318 2 1							1					
日日 生活科教育法(初等) 音楽科教育法(初等) 12-38 2 1 東1 東 1 東 1 東 1 東 1 東 1 東 1 東 1 東 1							1					≭Ⅰ
図画工作科教育法(初等) 12-318	目			_	2		·					兼1
家庭科教育法(初等) 体育科教育法(初等) 12-38 2 2 2 2 3 数職初期指導 1後 2 2 2 3 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3 3 6 2 3												兼1
体育科教育法(初等) 12-38							1					兼1
教職総合指導 2・3前 2 3 3 3 4 1 2 3 3 4 1 3 3 4		体育科教育法(初等)										
教職実践研究(小・中・高)				_	2							
教育実習事前事後指導(初等)				2	2							
知的障害児・者心理学 2・3前 2		教育実習事前事後指導(初等)	3後									
1	Mr						1					- Art.
知的障害の認知心理学 視覚障害教育 聴覚障害教育総論 肢体不自由者教育総論 病弱教育 重複障害教育 空 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 2 3前 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 3 章 2 3 6 章 2 3 7 章 2 3 8 章 2 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	判数											
2-3歳 2-3歳 2 素+1 表	育科	知的障害の認知心理学										
1	/											- 71
振り教育 2	谁											
言語障害教育 2:3前 1 1 1	36											
# 発達障害児の心理と教育 2・3後 2 1 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	/							١.				
知的障害児教育法1 3前 2 1 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3	特											兼1
知的障害児教育法2 3後 2 1 知的障害児教育課程論 2·3後 2	支							+				
科 特別支援学校教育実習事前事後指導 4前 1 2 4	教育		3後		2		1					
	専門						,	4				
- pro-	目		4削 4前									ボー

			T j	単位数	友	車	I任教	/ 員等	の配	!置	兼
科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区分	及本行口の ロック	年次	l			١	教				兼
<u> </u>	<u></u> !	八	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	日本語学概論A	1・2前	_			1					Γ
	日本語学概論B	1·2後	_	'	'	1				'	'
専	日本語文法A	1・2前		2	'	1					'
門門	日本語文法B	1·2後		2	'	1					
教	文章表現法	2·3後		1	'	1					兼1
育	日本人の言語史A	2・3前		2		1				1	兼1
科	日本人の言語史B	2·3後		2	'	1				1	兼1
目	日本文学史A	1・2前	_	1	'	ĺ					兼1
-	日本文学史B	1·2後	_	1		1					
発	日本文学史C	2・3前	i	2	'	ĺ					兼1
達	日本文学史D	2·3後	i	2	'	ĺ					兼1
教	日本古典文学研究A	2·3前	l	2		ĺ					兼1
育	日本古典文学研究B	2·3後	i	2	'	ĺ					兼1
系	日本近代文学研究A	2·3前		2	'	ĺ				'	兼1
科	日本近代文学研究B	2·3後		2	'	l					兼1
目	日本近代文学研究C	2・3前		2	'	1				1	兼1
/	日本近代文学研究D	2·3後		2		1.				1	兼1
中	漢文学概論A	1・2前				1				1	1 '
等	漢文学概論B	1・2後	_			1				1	ايا
教	書道A	1-2-3前		ا , ا		1				1	兼1
育	書道B	1・2・3後	ĺ	1	'	۱.				1	兼1
専	国語科教育法1	2前	ĺ	2		1				1	۱
門	国語科教育法2	2後	ĺ	2		۱.				1	兼1
科	国語科教育法3	3前	ĺ	2		1				1	١
目	国語科教育法4	3後	ĺ	2		1.				1	兼1
	教育実習事前事後指導(中・高)	4前	i	1	'	1				'	1
	高等学校教育実習	4前	ĺ	2	'	1					1
専	中学校教育実習	4前	<u> </u>	4	igspace	2	—	₩	—	 '	±.4
門	専門演習A 専門演習B	2前	2	1	'	2	1				兼4 ====================================
教育	専門演省B 専門演習C	2後	2	1	'	3	١,				兼5 兼4
科	専門演習D	3前	2	1		2	1				兼4 ====
専	専門演省D 卒論指導演習1	3後	2	₩	\vdash	3 7	₩	\vdash	₩	₩	兼5
教	卒論指導演習2 卒論指導演習2	4前 4後	2	1	'	7					兼7 兼7
育科	平調拍导演首2 卒業論文	4伎 4後	8	1	'	7					兼7
B	华未 冊入	41久	٥	1		′					末,
	小計(91科目)	-				Г					
	合計(177科目)	_	Т			Г					
-			ш	سل		Щ	Щ	Щ	Ь		Щ

卒業要件及び履修方法

卒業要件 学生は、当該学部の定める次の区分により授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。 ア. 共通教育科目は、必修科目を含め40単位以上 イ. 専門教育科目は、必修科目を含め97単位以上 履修方法 履修科目の登録の上限:年間44単位(半期22単位)まで

【平成30年度】

特になし。

【令和元年度】

- ・職位変更により「基礎ゼミナール1」教授2→教授3、准教授1→0へ変更

- ・担当者変更により「英語A3」「英語A4」兼4→兼3へ変更 ・担当者変更により「英語B1」「英語B2] 兼3→兼2へ変更 ・担当者変更により「英語B3」「英語B4」兼3→兼1へ変更

- 12日日& 天により「宍語ロら」「宍語ロ台」 末3 → 末1 へ変更 ・担当者変更により「日本語A1a」「日本語A2a」「日本語B3」「日本語B4」教授1→兼1へ変更 ・担当者増員により「コンピュータリテラシー」 兼2 → 兼4 へ変更 ・担当者増員により「スポーツ科学実技A1」「スポーツ科学実技A2」 兼3 → 兼4 へ変更 ・職位変更及び担当者増員により「プレインターンシップ」教授2→教授3、准教授1→0、兼15→兼17へ変更
- ・担当者増員により「インターンシップ」兼4→兼5へ変更 ・未開講のため「哲学」「文学」「ジェンダー論」「英語D1」「英語D2」「日本人の言語史A」「日本人の言語史B」兼1削除
- ・担当者変更のため「デザイン論」兼1→教授1へ変更
- ・担当者変更のため「現代社会の諸問題B」兼1→教授へ変更

- ・担当有変史のにめ「現れ社会の語回恩ロ」ホーー級な、多文 ・担当者増員により「文章表現法」教授 0 →教授 1 へ変更 ・職位変更により「言語障害教育」「発達障害児の心理と教育」教授 0 →教授 1 、准教授 1 → 0 へ変更 ・職位変更により「特別支援学校教育事前事後指導」「特別支援学校教育実習」教授 1 →教授 2 、准教授 1 → 0 へ変更 ・職位変更及び担当者変更により「専門演習 A 」「専門演習 C 」教授 2 →教授 3 、准教授 1 → 0 、兼 4 → 兼 3 へ変更

- ・担当者変更により「専門演習B」「専門演習D」教授3→教授2、兼5→兼6へ変更 ・職位変更及び担当者変更により「卒論指導演習1」「卒論指導演習2」「卒業論文」准教授1→0、兼8→9へ変更

【令和2年度】

- ・担当者変更により「基礎ゼミナール2」准教授 1→0、兼3→兼2へ変更・担当者変更により「英語B3」「英語B4」兼3→兼1へ変更・担当者変更により「とちぎ学」兼1→兼2へ変更・担当者変更及び増員により「プレインターンシップ」教授5→7、准教授1→0、兼15→兼20へ変更・提当者変更及び増員により「プレインターンシップ」教授5→7、准教授1→0、兼15→兼20へ変更・未開講のため「科学・技術論」「英語C2」「英語E2」「英語E1」「英語E2」兼1削除・担当者変更のため「教職論(小・中・高)」教授1→推教授1へ変更
 歴代本面のため「教育の制度と社会(小・中・高)」、教授1→推教授1へ変更

- ・職位変更のため「教育の制度と社会(小・中・高)」「教育課程論(小・中・高)」教授1→兼 1 へ変更

- ・職位変更のため「教育の制度と社会(小・中・局)」「教育課程論(小・中・局)」教授Ⅰ→兼1へ変更 ・職位変更のため「特別活動指導法(小・中・高)」教授2→教授1、兼1へ変更 ・担当者変更により「国語科教育法1」「国語科教育法3」兼1→教授1へ変更 ・職位変更及び担当者変更により「卒論指導演習1」「卒論指導演習2」「卒業論文」教授5→7、准教授1→0、兼8→7へ変更

下記科目については令和元年度に変更があったが、担当者変更、担当者増員等により認可時または届出時の教員配置に戻る。 ・「英語A3(英文講読) 」「英語A4(英文講読)」「英語B1(コミュニケーション)」「英語B2(コミュニケーション)」「文学」「専門演習A」「専 門演習B」「専門演習C」「専門演習D」

【令和3年度】

- ・担当者変更により「基礎ゼミナール1」教授 $2 \to 3$ 、准教授 $1 \to$ 削除 ・担当者変更により「基礎ゼミナール2」教授 $2 \to 1$ 、准教授 $0 \to 1$ 、兼 $3 \to$ 兼 $2 \land$ 変更 ・担当者変更により「英語 B 3 」「英語 B 4 」兼 $3 \to$ 兼 $1 \land$ 変更
- ・担当者変更により「日本語A1a」「日本語A2a」教授1→削除、兼任1を追加・担当者変更により「日本語A3b」「日本語A4b」兼担0→1を追加
- ・担当者増員により「とちぎ学」兼 1 → 兼 2 へ変更
- にヨョーは日により「キャリアデザイン1」教授 0 → 1 を追加 ・担当者変更により「キャリアデザイン1」教授 0 → 1 を追加 ・担当者変更及び増員により「プレインターンシップ」教授5→7、准教授 1 →削除
- ・担当者変更により「デザイン論」教授 O → 1 を追加
- ・担当者変更により「現代社会の諸問題B」教授 0→1を追加
- ・未開講のため「科学・技術論」「環境論」「ジェンダー論」「英語C1」「英語C2」「英語E1」「英語E2」兼 1 削除・担当者変更のため「教職論(小・中・高)」教授 1 →削除、准教授 0 → 1 を追加
- ・職位変更のため「教育の制度と社会(小・中・高)」「教育相談(小・中・高)」教授1→兼1へ変更 ・担当者変更のため「特別活動指導法(小・中・高)」「教育相談(小中高)」教授2→削除、准教授0→1を追加
- 担当者変更により「特別支援教育総論」教授2→1に変更、准教授1→削除
- ・担当者変更により「教職初期指導」教授2→1に変更 ・担当者変更により「教職実践研究(小中高)」教授3→2へ変更

- ・担当者変更により「小学校教育実習」教授1→2へ変更 ・担当者変更により「小学校教育実習」教授1→2へ変更 ・担当者変更により「言語障害教育」准教授1を削除、教授0→1へ変更 ・担当者変更により「発達障害児の心理と教育」准教授1を削除、教授1を追加
- ・担当者変更により「文章表現法」教授1を追加 ・担当者変更により「文章表現法」教授1を追加 ・後任担当者がいないため非開講とし、「日本人の言語史A」「日本人の言語史B」兼任1→削除 ・担当者変更により「国語科教育法1」「国語科教育法3」兼1を削除、教授1を追加 ・担当者変更により「専門演習A」「専門演習C」教授2→3に変更、准教授1を削除
- ・担当者変更により「卒業指導演習1」教授5→3へ変更、兼任8→4へ変更
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

		設置時	の計画						変更	状況	?			備考
必作	修	選択	自由	計 (A)		必修	多	選扎	尺		自由	計		1用 行
60	科目	117 科目	科目	177 科	目	60 [科目	117 [科目	[科目	177 [科目	

(注) ・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	哲学	2	1 • 2	一般	選択	担当者退職、後任未定
2	環境論	2	1 • 2	一般	選択	担当者退職、後任未定
3	科学・技術論	2	1 • 2	一般	選択	担当者退職、後任未定
4	ジェンダー論	2	1 • 2	一般	選択	担当者退職、後任未定
5	英語 C 1	1	1 • 2	一般	選択	担当者体調不良、後任未定
6	英語C2	1	1 • 2	一般	選択	担当者体調不良、後任未定
7	英語 D 1	1	2 • 3 • 4	一般	選択	英語B1、B2クラス増設の都合により、非開講
8	英語 D 2	1	2 • 3 • 4	一般	選択	英語B1、B2クラス増設の都合により、非開講
9	英語E1	1	2 • 3 • 4	一般	選択	英語A1、A2クラス増設の都合により、非開講
1 0	英語E2	1	2 • 3 • 4	一般	選択	英語A1、A2クラス増設の都合により、非開講
1 1	日本人の言語史A	2	2 • 3	専門	選択	担当者退職(本人死亡)、後任未定
1 2	日本人の言語史B	2	2 • 3	専門	選択	担当者退職(本人死亡)、後任未定
1 3	日本近代文学研究C	2	2 • 3	専門	選択	担当者退職、後任未定
1 4	日本近代文学研究D	2	2 • 3	専門	選択	担当者退職、後任未定

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見

教員の担当科目数や実施準備等の都合から、非開講となった科目がある。また、後任未定の科目については今後専任教員の採用または非常勤講師で対応する計画である。

「学生への周知方法」

新入生オリエンテーション時の履修指導の時間に教務課職員及び教務委員の教員により開講できない理 由や次年度の処置を説明し、次年度の履修に支障が生じないように配慮した。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 設置時の計画の授業科目数の計(A) = 14 7.9 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区	分				内				5	——				備考
(1)	区	分		専	用	共	用		共用する他 学校等の専				計		
•	校	舎敷は	te e		3, 622m²		54, 7951			1, 634	m²		60	0, 051 m ²	作新学院大学女子短 期大学部(必要面積
-	運	動場用地	1		11, 629 m²		16, 362	ที่		3, 953	lm ²		3	1, 944miً	2 600㎡) と共田 (川7
校	小	ā	ŀ		15, 251 m²		71, 157	'n		5, 587	'mi		9	1, 995 m ²	
地	÷	の 他	2		0 m²		10, 136) 12, 028			C)mi		10 1:	0, 136㎡ 2, 028㎡	宇都宮市LRT整備事業 に伴い、その事業用 地として校地等に分 類される校地を処分 するもの。作学法発
等	合	Ē	t		15, 251 m²		81, 293। 83, 185 1			5, 587	'mi̇̃				第30号0 第30号0 月15日「校地李 届」提出済、作学法 発第48号令和2年 4月6日差替(2)
				専	用	共	用		共用する他 学校等の専				計		作新学院大学女子短
(2) 校		舎			7, 083 m²		5, 4351			4, 241	m²		10	6, 759m ²	期大学部(必要面積 2,850㎡)と共用(収
				(7, 083 m²)	(5, 435 m	î) (4, 241	,	m) (1	6, 759	m²)	容定員:270人)
			講	義 室	演	習室	実験実	習室	情報処理	理学習	施設	語句	学学習	施設	大学全体(語学学習
(3) 教	室	等		0.0		204		مخ			1室			1室	体部件 化新学院士
				20)室	26室		6室	(補助職	員	人)	(補助	職員	人)	共有)
(4) 南	任教員研究	空会			新設学部	3等の名称			3	室		数			令和2年4月 専任教授1名を新規
(4) +	正教 员 则:	n±			人間文化学部	発達教育	学科				16 15			室	採用のため(2)
				図書	学術	i雑誌			- 視聴覚資	各料	機械・	・哭旦	標	本	
(5)	新設学 の名		〔う	ち外国書〕	〔うち	(書国格	電子ジャ	ーナル	10040000	A. 111	100.100	W 25	1NK	77	
					m	種	〔うち外	国書〕		点		点		点	図書館は作新学院大学 女子短期大学部と共有
			1	800 [100]	1	20 (3)	5070 (5000)	40						電子ジャーナルは、作
				(384 [26]) (1	26 (8))	(5172 [5104))	(4)						新学院大学女子短期大 学部と共有
	00	学部		(598 [39]		27 (9))	(5508 (1		(24)						図書冊数の変更は、蔵 書要望による(30)
図書				(593 [57]		4 (10)	(5417 ((30)						図書冊数の変更は、蔵
設				(526 [22]		(8)	(5099 [-(8)	-	()	()	書要望による(元)
備				800 (100)		20 (3)	5070 (40						図書冊数の変更は、蔵 書要望による(2)
	=1			(384 [26]		26 (8))	(5172 ((4)						図書冊数の変更は、蔵
	計			(598 (59) (593 (57)		27 (9]) 4 (10])	(5508 (! (5417 (!		(24)						書要望による(3)
				(526 [22]		(8)	(5099 [((8)		()	()	
				面	積	1	閲覧座		(6)	_	· 又納		<u> </u>		
(6) 図	書	館			4, 06	4m²	50 死 左	/III 9A	321席	72	× 44.1	-3 16	1111		
				面	積			本育館以	外のスポ-	ーツ旅	設の概	要			24 1 MENUT 1 HP74 137
(7) 体	育	館			1, 77	7m²						-			-
		[2	<u> </u>	分	開設年度	完成年月	隻 区	分	開設前年	年度	開設	年度	完原	戊年度	
(8)	経費 の見	教員 1	人当り	研究費等	300千円	3007	-	購入費	7, 000			00千円		000千円	1
経費の 積り及		共 同	研 3	究 費 等	1,000千円	1,000	一円 設備!	購入費	9, 826	千円	18, 9	41千円	15, 2	250千円	図書費には電子 ジャーナル・データ
維持方の概	法 学生	1.人当	第	1 年次	第2年次	第	3年次	第 4 年	∓次	第	5年次		第64	年次	ベースの整備費を含む
1190		り 付金		1,320千円	1, 000=	f用	1,000千円	1, 0	00千円		- 1	円	_	- 千円	
	学生	納付金	以外の	維持方法の	概要 私立大	学等経費常	常費補助金、	資金運用	収入、雑	収入					1

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(3)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	作	新	学 院	大 学			学生募集停止学科数	1	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		0	備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在	地		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度		年度		
大学院経営学研究科 博士前期課程	2	20	人 _	40	修士 (経営学)	0. 35	0. 3		平成5年度	栃木県宇都 竹下町字東 908番地の	原		
博士後期課程	3	3	_	9	博士 (経営学)	0. 22	0. 66		平成7年度	同上			
大学院心理学研究科 臨床心理学専攻 (修士課程)	2	15	_	30	修士(臨床心理学)	0. 87	0.8		平成18年度	同上			
経営学部													
経営学科	4	105	_	420	学士 (経営学)	1. 13	1. 21		平成26年度	同上		平成26年 の経営学 学科(入・ 120名)、 ジント学 定員60名 平成28年	部経営 学定員 スポーツマネ 科(入学 i)で設置
スポーツマネジメント学科	4	95	_	380	学士 (経営学)	0. 91	0. 92		平成26年度	同上		営学部経 (入学定 名)、スポ ハ学科(, 95名)に	営学科 員105 -ツマネジメ 入学定員
人間文化学部													
人間文化学科	4	_	_		学士 (人間文化学)	_	_		平成14年度	同上		平成30年 学生募集	
<u>発達教育学科</u>	4	50	_	200	学士 (人間文化学)	0.77	0. 62		平成30年度	同上			
心理コミュニケーション学科	4	50	_	200	学士 (人間文化学)	1. 15	1		平成30年度	同上			
大学全体	4	338	_	1279	_	0. 97	0. 96		平成元年度	同上		備	考
大学の名称	作新学	院大学	女子短期	大学部			学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		0	備	考
	年	人	年次	人		倍	倍						
幼児教育科	2	135	_ _	280	短期大学士 (幼児教育)	0. 90	0. 90		昭和42年度	栃木県宇都 竹下町字東 908番地の	原	令和2年月 学定員13 更	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている
 - 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

<人間文化学部 発達教育学科>

(1)一①担当教員表

188 11 18	又は届出	時】	【平成:	30年度】		【令和元	5年度]		【令和	2年度]		【令和:	3年度】	
享任・ 表担・ 表任 り別	職名	氏 名 (年 虧) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 虧) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 虧) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		渡邊 弘 (62) 〈平成30年4月〉 博士(教育学)			渡邊 弘 (62) <平成30年4月> 博士(教育学)			渡邊 弘 (63) <平成30年4月> 博士 (教育学)			渡邊 弘 (64) <平成30年4月> 博士(教育学)			渡邊 弘 (65) <平成30年4月> 博士(教育学)
専任	教授	教育原理(小·中·高) 道徳指導法(小·中·高) 教職実践研究(小·中·高)	専任	教授	教育原理(小·中·高) 道德指導法(小·中·高) 教職美践研究(小·中·高)	専任	教授	教育原理 (小·中·高) 道德指導法 (小·中·高) 教職美践研究 (小·中·高)	専任	教授	教育原理(小·中·高) 道德指導法(小·中·高) 教職美践研究(小·中·高)	専任	教授	教育原理(小·中·高) 道德指導法(小·中·高) 金融契維研究(小·中·高)
		玉城 要 (51) <平成30年4月> 修士(文学)			玉城 要 (51) <平成30年4月> 修士(文学)			五城 要 (52) 〈平成30年4月〉 修士(文学)			五城 要 (53) <平成30年4月> 修士(文学)			五城 要 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
専任	教授	基礎はまナール1 初級中部に持ち、1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	専任	教授	基礎を到する。 基礎を到する。 基礎を到する。 基礎を可能は、2 2 1 初級中国語と 2 1 初級中国語と 2 1 初級中国語と 2 1 中級・文字を認める。 第二次 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	専任	教授	基礎ゼミナール1 初級中国医1-1 初級中国医1-2 初級中国医1-2 初級中国医2-2 対象の中国医2-2 コンピュータリテラシー1 漢文字字数数8-0 コンピュータリテラシー1 漢文字字数8-0 エステーター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専任	教授	基礎ゼミナール1 お服中国語 1-2 初級中国語 1-2 初級中国語 2-7 初級中国語 2-7 の 1-2 フレビュータリテラシー 1 漢文字を認め C フレビューター 1 フレビューター 1 フレビューター 1 フレビューター 1 フロビュータ	専任	教授	基礎を主力・ルート ・
		池上 啓 (61) 〈平成30年4月〉 文学修士			池上 啓 (61) <平成30年4月> 文学修士			池上 啓 (62) < 平成30年4月> 文学修士			池上 啓 (63) <平成30年4月> 文学修士			港上 啓 (64) 〈平成30年4月〉 文学修士
専任	教授	日本語学概論 A 日本語学概論 B 日本語等文法 B 日本語等文法 B 日本語等文教	専任	教授	日本語学概論 A 日本語等で推議 B 日本語語語技術 B 日本語語語語数 第一年 日本礎生活等 第一年 日本礎生湯 演演 B 日本礎生湯 演演 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本礎生湯 第 B 日本歴史 B 日本 B 日本 B 日本 B 日本 B 日本 B 日本 B 日本 B 日本	専任	教授	日本語学根議日 日本語学文法A 日本語学文法A 日本語学文法A 日本語学文法A 日本語学表演 日本語学表演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学演演 日本語学 日本語学 日本語学 日本語学 日本語学 日本語学 日本語学 日本語学	専任	教授	日本語学概論 A 日本語学成論 B 日本語文法 A 日本語文法 B 基礎は3 ナール 2 平論指導演習 2 専治指導演習 D コンピュータリテラシー1	専任	教授	日本語学版論A 日本語文法A 日本語文法A 日本語文法B 基礎ゼミナール2 字論指導演習1 草油指導演習2 車門演習5 D コンピュータリテラシー1
		小 林 千枝子 (63) 〈平成30年4月〉 博士 (社会科学)			小 林 千枝子 (63) 〈平成30年4月〉 博士 (社会科学)			小 林 千枝子 (64) 〈平成30年4月〉 博士 (社会科学)						
専任	教授	教職論(小・中・高) 教育の制度と社会(小・中・高) 教育の制度と社会(小・中・高) 教育課程論(小・中・高) 泰門課医日・ D 栗門演医軍事前事後指導(中・高) 平議指導演習 2 平議指導演習 2	専任	教授	教職論(小・中・高) 教育の制度と社会(小・中・高) 教育の制度と社会(小・中・高) 教育課程論(小・中・高) 報育課室音・日 専門漢室音・新事後指導(中・高) 卒業維護導策官 1 卒業指導演審 2	専任	教授	教職論(小・中・高) 教育の制度と社会(小・中・高) 教育の制度と社会(小・中・高) 教育課程論(小・中・高) 場合(本語) 場合(本語) 場合(本語) 事件表記事を指導(中・高) 年期報準決定 第2 第2 第2 第2 第2 第2 第2 第2 第3 第2 第3 第3 第3 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4 第4						
		高柳秀史 (53)			高柳秀史 (53)			高柳秀史 (54)			高柳秀史 (55)			高 柳 秀 史 (56) <平成30年4月>
		<平成30年4月> 博士 (理学)			<平成30年4月> 博士(理学)			<平成30年4月> 博士 (理学)			<平成30年4月> 博士 (理学)			<平成30年4月> 博士 (理学)
専任	教授	基礎ゼミナール 1 小学女算数 数数計学 1 統計学 2 日本事情A 日本事情B	専任	教授	基礎ゼミナール1 小学校算数 数数計学1 数数計学2 日本事情日	専任	教授	基礎ゼミナール 1 小学校算教 教献計学 1 執統計学 2 日本事情日	専任	教授	基礎ゼミナール 1 小学校算数 数学 統計学 1 統計学 2 日本事情A プレインターンシップ	専任	教授	基礎ゼミナール 1 小学校算数 数学 統計学 1 統計学 2 日本事情A 日本事情A ブレインターンシップ
		西 谷 健 次 (53) <平成30年4月> 修士 (教育学)			西 谷 健 次 (53) <平成30年4月> 修士(教育学)			西 谷 健 次 (54) 〈平成30年4月〉 修士(教育学)			西 谷 健 次 (55) 〈平成30年4月〉 修士(教育学)			西 谷 健 次 (56) 〈平成30年4月〉 修士(教育学)
専任	教授	基礎ゼミナール 2 心理学の中で、 (小・中・高) 教育心理学(小・中・高) 教育問族(小・中・高) 教育門漢20 ターンピップ アンマングラップ マンジーング マンジーング マングーング マング マング マング マング マング マング マング マ	専任	教授	基礎ゼミナール2 の理学 (小・中・高) 教育和度(小・中・高) 教育和度(小・中・高) 教育和度(小・中・高) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専任	教授	基礎ゼミナール 2 心理学 が 1 中本 教育心理学(小・中・高) 教育心理学(小・中・高) 教育心理学(小・中・高) 教育 1 中本 プレインターン学 平海 2 中本 新神海演習 2 平海 2 中本 東南 2 中本 東南 東南 2 中本 東南 東南 2 中本 東南 東 2 中本 東 東 2 中本 東	専任	教授	基礎ゼミナール 2 心理学 教育心理学(小・中・高) 教育的課題(小・中・高) 専門諸宮人・ロー・フ 中へなのテーンシップ 中央教育漢宮 1 李独指導漢宮 2	専任	教授	基礎ゼミナール2 心理学歴学(小・中・高) 教育相談(小・中・高) 専門法(か・中・高) 専門は(か・中・高) 専門はインターンシップ 中学指揮演響 2 卒論指揮演響 2
		牧 裕夫 (58) <平成30年4月> 修士 (教育学)			牧 裕夫 (58) <平成30年4月> 修士 (教育学)			牧 裕夫 (59) <平成30年4月> 教育学修士			牧 裕夫 (60) <平成30年4月> 教育学修士			牧 裕夫 (61) <平成30年4月> 教育学修士
専任	教授	特別支援教育総論 教育相談(小・中・高) 専門演習B・D ブレインターンシップ 卒論指導演習 2 卒論指導演習 2	専任	教授	特別支援教育総論 教育相談(小・中・高) 専門演習B・D ブレインターンシップ 卒論指導演習 2 卒論指導演習 2	専任	教授	特別支援教育総論 教育相談(小・中・高) 専門演習B・D ブレインターンシップ 卒論指導演習 2 卒論指導演習 2	専任	教授	特別女援教育総論 教育相談(小・中・高) 専門演者 ・ Dンシップ 全論指導演習 2 卒論指導演習 2	専任	教授	特別支援教育総論 教育相談(小・中・高) 専門演習 B・ D ブレインタップ 卒論指導演習 2 卒論指導演習 2
		高 山 裕 一 (61) <平成30年4月> 学士			高 山 裕 — (61) <平成30年4月> 学士			高 山 裕 — (62) <平成30年4月> 学士			高 山 裕 一 (63) <平成30年4月> 学士			高 山 裕 一 (64) <平成30年4月> 学士
専任	特任教授	小学校生活 級職別指導 級職総合指導法(小・中・高) 教職実施指導法(小・中・高) 教職実施 変態実施 教職要な当年実際(小・中・高) 教職要決議ターンシップ	専任	特任教授	小学校生活 教職総合指導法(小・中・高) 教職総合指導法(小・中・高) 特別法院部等等等を指導法(小・中・高) 分学校美技術学 (小・中・高) 分単位 (大・中・高) フレンシップ	専任	特任教授	小学校生活 教職報経済 新聞報経済 特別実施 特別実施 特別実施 等の 等の が学校実施 の の の の の の の の の の の の の	専任	特任教授	小学校生活 教職的指導 教職的指導。 教職的指導。 (小・中・高) 教育美習事事事後指導(初等) 小学校教育美習 (初年) (初年) (初年) (初年) (初年) (初年) (初年) (初年)	専任	特任教授	小学校生活 教職総合指導 特別活動指導 (小・中・高) 教育実施事事事事を指導(初等) 小学校教育実際(小・中・高) 教職実践課官(小・中・高) 教職実践課官(小・中・高)

専任 兼担 兼任 の別	職名	氏、名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 虧) <就任 (予定) 年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 使有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 館) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 高 浜 浩 二 (40) <平成30年4月> 心身障害学学士			担当授業科目名 英 済 浩 二 (40) <平成30年4月> 心身障害学学士			担当授業科目名 高 浜 浩 二 (41) 《平成30年4月》 修士(心理学)(心身障害学)	=			担当授業科目名 高 浜 浩 二 (42) 《平成30年4月》 (修士(心理学)(心身障害学)			担当授業科目名 高 浜 浩 二 (43) <平成30年4月> 修士(心理学)(心身障害学)
専任	准教授	基礎ゼミナール1 特別支援教育批論 外支援教育と が実施等の心理と教育 実施等の心理と教育 実施等を教育 東西年間決選係と教育実留事前事後 特別支援学と教育実留事前事後 特別支援学と教育実留 年結婚指導減費 フレイシターンシップ	専任	45	基礎ゼミナール1 特別支援等を総 特別支援等の心理と教育 支護師書のの理と教育 支護師書のの理と教育 支護師書名が 任 中別支援学校教育 英国事務事後 特別独議場場署 日 フレインターフ フレインターフンップ	専任	●接	基礎ゼミナール1 特別支援等を設定した。 特別支援等を約束 少議略第第の心理と教育 支護門演習を入り、 分別支援学校教育英密事 特別支援学校教育英密等 特別支援学校教育英密 等等 場所指導演習 2 二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十		専任	●接	基礎ゼミナール1 特別支援教育総論 基連確常児の選と教育 基連確常児の選と教育 等別選集・日本教育美 等別選集・日本教育美 等別選集・日本教育美 等別選集・日本教育美 等別選集・日本教育美 等別支援・日本教育美 等別支援・日本教育美 等別支援・日本教育美 日本教育 日本教育 日本教育 日本教育 日本教育 日本教育 日本教育 日本教育	専任	0.52	基礎 5 半 テール 1 特別 東京 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
									=	事任	准衛授	川原 徳太郎 (44) (40) (40) (40) (40) 第主(東京平) 第主(東京平) 第二(東京平) 第二(東京平) 第二(東京平) 第二(東京平)	零任	准备贷	川原 徳太郎 (48) (今市近年4月) 徳士徳(47) 徳士徳(47) 徳士徳(47) 徳士徳(47) 徳士徳(47) 徳士徳(47) 徳田徳(47) - 小・市 高) 昭田徳(47) - 小・中・高) 帝万郡徳(47) - 中・西 (48) - 中 (48)
		大 橋 幸 雄 (63) <平成30年4月> 学士			大 橋 幸 雄 (63) <平成30年4月> 学士			大 橋 幸 雄 (64) <平成30年4月> 学士	•			大橋 幸雄 (65) <平成30年4月> 学士			大橋幸雄 (66) <平成30年4月> 学士
専任	特任教授	国語科教育法(初等) 日本文学史日 中学校教育実習 高等学校教育美習	専任	特任教授	国語科教育法(初等) 日本文学史日 中学校教育実習 高等学校教育美習	専任	特任教授	国語科教育法(初等) 日本文学史B 日本文学史B 中学校教育実置 ブレインターンシップ		専任	特任教授	国語科教育法(初等) 日本文教史史 日本文教史史 第四 高等子校教育実習 プレインターンシップ 国際科教育集1 国際科教育集3	専任	特任教授	国語科教育法(初等) 日本文学史B 中学校教育実習 高等学校教育実習 プレインターンシップ 国際科教育技 日 中学校教育教育 中学校教育演習
		木 村 直 人 (63) <平成30年4月> 法学士			木 村 直 人 (63) <平成30年4月> 法学士			木 村 直 人 (64) <平成30年4月> 法学士				木 村 直 人 (65) <平成30年4月> 法学士			木 村 直 人 (66) <平成30年4月> 法学士
専任	特任教授	社会科教育法(初等) 生性排導と進路指導 (小·中·高) 教育業習事等後指導(中·高) 教職実践演習(小·中·高)	専任	特任教授	社会科教育法(初等) 生生排毒と進路指導(小·中·高) 教育実習事하事後指導(中·高) 教職実践演習(小·中·高)	専任	特任教授	社会科教育法(初等) 生徒指導と進路指導(小・中・高) 教育実習事前事後指導(中・高) 教職実践講家(小・中・高) プレインターンシップ 現代社会の諸問題 C		専任	特任 教授	社会科教育法(初等) 生徒指導と進路指導(小・中・高) 教育実習事前事後指導(中・高) 教育実習事の事を指導(中・高) 対しインターンシップ 製代社会の普両機 C	専任	特任教授	社会科教育法(初等) 生徒指導と進路指導(小・中・高) 教育実営事前事後指導(中・高) 教育実営事前事後指導(中・高) 教職実践議官(小・中・高) プレインターンシップ 現代社会の諮問題 C
		九津見 幸 男 (67) <平成30年4月> 修士			九津見 幸 男 (67) <平成30年4月> 修士			九津見 幸 男 (68) <平成30年4月> 修士(農学)	•			九津見 幸 男 (69) <平成30年4月> 修士(農学)			九津見 幸 男 (70) <平成30年4月> 修士(農学)
専任	特任教授	小学校理報 初等 教理科教育法法 教理教育法法 教理教育法法 教理教育法法 教理教育法 政治 政治 政治 政治 政治 政治 政治 政治 政治 政治 政治 政治 政治	専任	特任教授	小学校理核 (物等) 競技教育技術 原料教育技術 教理教育技術 教理教育企業 総合的な中間に関する指導法 (小中・高) の中の表現教育を(小・中・高) の表現教育を(小・中・高) の表現教育を(小・中・高) の表現教育を(小・中・高) の大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専任	特任教授	小学校理報 原料教育法(物等) 整理科教育法(物等) 教理総合化等(調する指導法 (小中・高) 小中・高) の事業(計算・事業・計算・活動・ を整理技術表(小・中・高) の事業を表情を表して、中・高) の事業を表情を表して、中・高) の事業を表情を表して、中・高) の事業を表情を表情を表して、中・高) の事業を表情を表情を表して、中・高)		専任	特任教授	小字校理程 理科教育技術等 整理科教育技術等 設合的化学習に関する指導法 (小中)高 か事後計算(お等) 小中)高 か事後計算(お等) 参加東投資研究(小中)高 の考した。 参加東投資第四(小中)高 の表現東投資第四(小中)。 の表現東投資第四(小中)。 プレインターンシップ	専任	特任教授	小学校理科 原料教育集(物等) 競技会(物等) 教理教会(地) 教理教会(地) (小中・高) (小中・高) (小中・高) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本
専任	特任教授	佐久間 宏 (70) (平成30年4月> 教育学修士 知的障害の発達心理学	専任	特任教授	佐久間 宏 (70) 宏 (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70) (70)	専任	特任教授	佐久間 宏 (71)	=	専任	特任教授	佐久間 宏 (72) <平成30年4月> 教育学修士 知的障害の発達心理学	専任	特任教授	佐久間 宏 (73)
		中 山 緑 朗 (70) <平成30年4月>			中 山 緑 朗 (70) <平成30年4月>			中 山 緑 朗 (71) <平成30年4月>	=			中 山 緑 朗 (72) <平成30年4月>			
専任	特任教授	博士 (文学) 小学校国語 (書写を含む) 日本語表現法 1 日本語表現法 2 日本語表現 2 日本語表 2 日本語 4 日本語 5 日本語 5 日本語 5 日本語 5 日本語 5	専任	特任教授	博士(文学) 小学校園語(書写を含む) 日本語表現法 1 日本語表現法 2 日本語表現法 2 日本語為 2 日本語為 2 日本語為 3 日本語 6 日本語 5 日本語 5 日本語 6 日本語 5 日本語 8	專任	特任教授	博士(文学) 小学校園語(書写を含む) 日本語表現法 1 日本語表現法 2 日本語人之一 日本語人之一 日本語人之一 日本語人之一 日本語		専任	特任教授	博士 (文学) 小学校国語(書写を含む) 日本語表現法 1 日本語表現法 2 日本語人のよう 日本語人のよう 日本語人のよう 日本語人のよう 日本語人のよう 日本語ーー			
		野 村 勝 彦 (65) <平成30年4月> 教育学修士			野 村 勝 彦 (65) <平成30年4月> 教育学修士			野 村 勝 彦 (66) <平成30年4月> 教育学修士	•			野 村 勝 彦 (67) <平成30年4月> 教育学修士			野 村 勝 彦 (68) <平成30年4月> 教育学修士
専任	特任教授	特別支援教育総論 知的障害形象育法 1 知的障害形象育法 2 特別支援学之教育 美 2 等事等 4 特別支援学之教育美 3 等別支援学之教育美 3 等別支援教育基础 (小·中· 高)	専任	特任教授	特別支援教育総論 知的障害學育法 1 知的障害學育 其法 1 知的障害學育 其法 2 特別支援学校教育美區事前事後 特別支援学校教育美區事前事後 特別支援教育 <mark>基礎 (小·中·</mark> 第)	専任	特任教授	特別支援教育総論 知的障害學教育法 1 知的障害學教育法 2 特別支援学校教育美富事前事後 特別支援学校教育美富事前事後 特別支援学校教育美富 特別支援教育美富 (小·中· 東)		専任	特任教授	特別支援教育総論 知的確保別教育注: 知的確保別教育注: 知的確保別教育注: 特別支援学校教育実習事前事後 指導支援教育基礎 特別支援学校教育業習 特別支援学校教育業習 特別支援学校教育業習 特別支援学校教育業 (本・中・ 直 10年期第1 2	専任	特任教授	特別支援教育政論 知的障害是書籍。 知的障害是教育法。 特別法。 特別法。 中心, 中心, 中心, 中心, 中心, 中心, 中心, 中心, 中心, 中心,
		村 松 和 彦 (59) <平成30年4月> 教育学修士			村 松 和 彦 (60) <平成30年4月> 教育学修士			村 松 和 彦 (61) <平成30年4月> 教育学修士	•			村 松 和 彦 (62) <平成30年4月> 教育学修士			村 松 和 彦 (63) <平成30年4月> 教育学修士
専任	特任教授		専任	特任教授		専任	特任教授	からてかよ 小学校図画工作 図画工作科教育法(初等) c デザイン		専任	特任教授	からアが立 小学校図画工作 図画工作科教育法(初等)。 デザイン論 本施律事項書 1 本施律事項書 2	専任	特任教授	からデルエ 小学校図画工作 図画工作科教育法(初等) c デザイン論 本論発導機等4 本論格等機響4
		小 黒 浩 司 (60) <平成30年4月> 修士(文学)			小 黒 浩 司 (60) <平成30年4月> 修士(文学)			小 黒 浩 司 (61) <平成30年4月> 修士(文学)				小 黒 浩 司 (62) <平成30年4月> 修士(文学)			小 黒 浩 司 (63) <平成30年4月> 修士(文学)
兼担	教授	図書館紙機 活展極油 図書館作機 対 活展	兼担	教授	図書館信義資産 画程論 図書館信義資産 画程論 図書館信義資産 画程論 情報報資産 組織漢言 『 1 情報報資産 組織漢言 『 2 図書館信養 2 図書館信養健士 経営論 図書館信養健士 経営論 図書書指導子アクの活用 イナーシック	兼担	教授	図書館所接資源程論 図書館所接資源程論 図書館所表示 研論 情報報資配書館 所述 の書館が 所述 の書館 の書館 の書館 の書館 の書館 の書館 の書館 の書館 の書 の書 の 書館 の 書館 の 書館 の 書館 の 書館 の 書館 の 書館 の 書館 の 書 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記		兼担	9AIX	図書館所施 図書館所施 図書館所を見る。 図書館所の の書館がサビス概論 情報を記載機構 通報機構 の書館的 の書館的 の書館的 の書館的 の書館が の書館が の書館が の書館が の書館が の書館が の書館が の書館が	兼担	教授	図書館を登録を 図書館が一とて、 図書館が一とて、 図書館が一とで、 の書館が一とで、 の書館が一とで、 の書館が一とで、 の書館が一とで、 の書館が一とで、 の書館が一をで、 の書では、 のまでは、

専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 虧) <就任(予定)年月> 保有学位等	**	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名		カ別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名
		木 村 克 彦 (58) <平成30年4月>			木 村 克 彦 (58) <平成30年4月>			木 村 克 彦 (59) <平成30年4月>	E			木 村 克 彦 (60) <平成30年4月>			木 村 克 彦 (61) <平成30年4月>
兼担	教授	修士(英文学) 英語 1 英語 2 英語 2 英語 2 英語 3 英語 3 英語 4 ブレインターンシップ	兼担	教授	修士(英文学) ※語 A 1 楽語 B 1 楽語 B 2 美語 B 2 美語 B 2 美語 B 3 美語 A 3 ブレインターンシップ	兼担	教授	修士(英文学) 英語 A-1 英語A-2 英語A-2 英語A-2 英語A-3 英語A-3 ブレインターンシップ		兼担	教授	修士 (英文学)	兼担	教授	修士(英文学)
兼担	教授	高 归 智 男 (64) 《平成30年4月》 英語 A 1 来語 A 2 来語 A 3 来語 A 4 来語 C 4 来語 E 1 来語 E 2 来文法	専任	教授	高 炤 智 男 (G4) (G4) (G4) (G4) (G4) (G4) (G4) (G4)				Ē						
兼担	教授	田 所 摂 寿 (45)3044月> (45)3044月 (45)30444 (45)30444 (45)30444 (45)3044 (45)3044 (45)3044 (45)3044 (45)3044 (45)3044 (45)3044 (45)3044 (45)3044 (45	兼担	教授	田 所 核 寿 (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45)	兼担	教授	田所抵寿 (46)44月> (47年30年4月> (47年30年4月> (47年30年4月> (47年30年4月> (47年30年4月) (47年30年30年4月) (47年30年4月) (47	Ē	兼担	教授	田 所 摂 寿 (4(1))	兼担	教授	田所接寿 (48)0年4月> 修士(心理学) 発達心理学 現内漢音・D ブレインターンシップ 李勝指導演習 2 李勝指導演習 2
兼担	教授	原 田 明 子 (57) (57) (7年次の年4月> 東語 A 2 乗話 A 2 乗話 A 3 乗話 A 3 外国語 版 に関する指導法(初 専門演習 C 2 英語 発現法 卒 幸福指導演習 2	兼担	教授	原 田 明 子 (〒530年4月> 東語 A 2 東語 A 3 外国語 西側に関する指導法(初 専門演習 A 2 英語 A 2 英語 A 3 学 国語 部間に関する指導法(初 専門演習 A 2 英語 海洋電景 2 東語 海洋電景 2 東語 4 東語 r>4 東 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	兼担	教授	原 哲 明 子 (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58) (58)	=	兼担	教授	原 田 明 子 (50) (平成30年4月> 東語 A 第2(文字) 東語 A 3 東語 A 3 東語 A 3 東語 A 3 東語 A 6 東西 第2(表 2) 東西 A 7 東西 第2(表 2) 東西 A 7 東西 第2(表 2) 東西 A 7 東西 第2(表 2) 東西 A 7 東西 第2(表 2)	兼担	教授	原 田 明 子 《平成20年4月> 英語 A 2 英語 A 2 英語 A 3 英語 A 3 神田 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
兼担	教授	藤 本 - 男 (53) (53) (54) (53) (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54	兼担	教授	藤 本 - 男 (平成301年4月> 博士(社会学) 基礎ゼミナール2 コンビュータリテラシー1 キャリアデザイン1 キャリアデザインの 年発指帯導派官 2	兼担	教授	藤 本 - 男 (64) - 男 (7年30年4月 > 修士 (社会学) 基礎ゼミナール2 コンピュータリテラシー1 キャリアデザイン1 東門深部人 C 年添貨物湯第 I - 年齢指導演習 2	Ē						
兼担	教授	松 田 真 幸 (59) 《平成30年4月》 修士 (文学) 専門演習B・D 李錦指導演習 1 李錦指導演習 2	兼担	教授	松 田 真 幸 (59) 《平成30年4月》 《华 (文学) 華門濱置B-D 李飾指導演習 1 華館指導演習 2	兼担	教授	松 田 真 幸 (60) 《平成30年4月》 《生 文字》 華門演習 B · D 李独指導演習 1 李強指導演習 2	Ē	兼担	教授	松 田 真 幸 (61) 《平成30年4月》 《年 (文学) 華門演習 B・D 李論指導演習 1 李論指導演習 2	兼担	教授	松 田 真 幸 (62) 《平成の年4月> 参生(文学) 専門演習 G・D 卒論指導演習 1 卒論指導演習 2
兼担	教授	山 尾 食 則 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)	兼担	教授	山 尾 貴 則 (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47)	兼担	教授	山 尾 貴 則 (48) 《甲原30年4月> 博士(文字) 基礎ゼミナール 1 コンピュータリテラシー 1 専門20日 ・ D・ D・ D・ D・ D・ D・ D・ D・ D・ D・ D・ D・ D		兼担	教授	山 尾 貴 則 《平成30年4月》 《平成30年4月》 博士 (文学) 基礎ゼミナール1 コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 専門演習 A・C 年端指導演習 2 年端指導演習 2	兼担	教授	
兼担	准教授	日 高 茂 輔 (不成30年4月) ・ 株主 (教育学) ・ 株主 (教育学) 基礎 1(表示 アルシン 選挙 ・ 東京 アルルシン 選挙 ・ 東京 アルルシン 選挙 ・ 東京 日本 中 ・ 東京 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	兼担	准教授	日 高 茂 橋 (3) 《平成30年4月》 様士(教育学) 様士(教育学) 基礎付きか一ルス (2) 基礎付きかの提加を選挙 (3) 基礎付きを表す 単一次第2 ・				Ē						
兼担	准教授	象 報簡	兼担	准教授	★ 報告 (37) (平成30年4月) 博士(教育学) 基礎ゼミナール1 専門演習・C ブレインターンシップ 卒論指導演習 2 年 2 年 3 年 3 日本 3 日本 4 日本 4 日本 4 日本 4 日本 4 日本 4 日本 4 日本 4	兼担	准教授	象 様類 (33) 《平成30年4月》 博士 (教育学) 基礎ゼミナール 基礎ゼミナール 基礎ゼミナール 基礎ガミナール 基礎ガミオール 年 (43)	Ē	兼担	准教授	衆 報期 (マスタリー)			
						兼担	准教授	村田 朝日春 (本度31年4月) 博士 (教育学) 基礎ゼミナール2 ブレインターンシップ 専門設質8・D	-	兼组	准备报	村田 明日春 (41) (マ東3144月> 博士 (徳育季) 基礎ゼミナール2 ブレインターンシップ 専門設置8日 中間では18日 東京日本第日 東京日本第日 東京日本第日 東京日本第日 東京日本第日 東京日本第日 東京日本第日 東京日本第日 東京日本	兼担	准款提	村田 明日春 (位) (名) (本年本) 本日本 第主 (後年年) 基礎ゼミナール2 ブレインターンシップ 専門展音のより 不能所書講習 (市場所書講習 (市場所書講習 (市場所書講習 (市場所書講習 (市場所書講習 (市場所書講習 (市場所書書書
										*41	准章技	本 村 選 史 〈令和2年4月〉 文学称と (社会学) 基礎ゼミナール1 コンピュータリテラシー1 専門練習8・D	***	准教授	本 村 重 史 〈令和2年年4月〉 文学様士 (社会学) 基礎ゼミナール1 コンピュータリテラシー1 専門被害・D 本語検索要素質 本語検察要素質
													業組	ator	下原川 様 (29) (全和3年4月) 修士 (後有学) 基礎ゼミナール1 コンピュータリテラシー 1 オント社会の人と観報 サリアラシー 2 東大学 2 日 ・ D 東大学 3 日 ・ D
兼担	ng day	杉 原 歌 子 《宗(30年4月> 修士(臨床心理学) 基礎ゼミナール 2 専門演習 A - C ブレイションシップ 卒論指導演習 1 幸論指導演習 2	*4	18.60	杉 原 歌 子 (31) (第2) (第2) (第4) (第4) (第4) (第4) (第4) (第4) (第4) (第5) (第4) (第5) (第5) (第5) (第5) (第5) (第5) (第5) (第5	**	st in	杉原 歌子 (32) 《平成の年月> 修士 (施保心理学) ・ 一成の年月> 修士 (施保心理学) ・ 一成の日本 (施保心理学) ・ 一定 (施保心理学) ・ 一定 (兼個	前海	お 原 歌 子 《平成30年4月》 修士(臨床心理学) 連載セナールユ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	蒙祖	ut in	杉 原 股 子 (34) (マスタン4月) 修士 (臨床も理学) 基礎ゼミナール 2 等円銀管 人

専任・		T .	専任・			-			専任・	_		and the		
兼担		氏 名 (年 齢)	泰担·		氏 名 (年 齢)	専任 兼担		氏 名 (年 齢)	兼担・		氏 名 (年齢)	専任・ 兼担・		氏名
兼任	職名	(年 m) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任	職名	(年 助) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任	職名	<就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任	職名	(年 即) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
の別	98.43		の別	48.43		の別	88.43		の別	48.43		の別	88.43	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		クイン マシュー (37)			クイン マシュー (37)			クイン マシュー (38)			クイン マシュー (34)			クイン マシュー (35)
		<平成30年4月> BSc (Geography 2:1)	11		<平成30年4月> BSc (Geography 2:1)			<平成30年4月> BSc (Geography 2:1)			<平成30年4月> BSc (Geography 2:1)			<平成30年4月> BSc (Geography 2:1)
兼担	特任 講師	英語B1 英語B2	兼担	特任 講師	英語B1 英語B2	3	担 特任	英語 B 1 英語 B 2	兼担	特任 講師	英語B1 英語B2	兼担	特任 講師	英語B1
		英語B3 英語B4			英語B3 英語B4			英語B3 英語B4			英語B3 英語B4			英語 B 1 英語 B 2 英語 B 3 英語 B 4 英語 D 1
		英語 D 1			英語 D 1			英語 D 1			英語D 1			
		天 尾 久 夫 (52) <平成30年4月>			天 尾 久 夫 (52) <平成30年4月>			天 尾 久 夫 (53) <平成30年4月>			天 尾 久 夫 (54) <平成30年4月>			天 尾 久 夫 (55) <平成30年4月>
兼担	教授	修士(経済学)	兼担	教授	修士(経済学)	3	担 教授	修士(経済学)	兼担	教授	修士(経済学)	兼担	教授	修士(経済学)
		プレインターンシップ			プレインターンシップ			プレインターンシップ			プレインターンシップ			プレインターンシップ
		笠原彰 (49) <平成30年4月>			笠原 彰 (49) <平成30年4月>			笠原 彰 (50) <平成30年4月>			笠原 彰 (51) <平成30年4月>			笠原 彰 (52) <平成30年4月>
		ゲ土 (体育学)	1		修士 (体育学)			修士 (体育学)			ド主 (体育学)			修士 (体育学)
兼担	准教授	スポーツ科学実技A1	兼担	准教授	スポーツ科学実技A 1	3	担 准教报	スポーツ科学実技 A 1 スポーツ科学実技 A 2	兼担	准教授	スポーツ科学実技A 1	兼担	准教授	スポーツ科学実技A1
		スポーツ科学実技 A 2 プレインターンシップ インターンシップ			スポーツ科学実技A2 プレインターンシップ インターンシップ			スホーッキチ夫女A2 プレインターンシップ インターンシップ			スポーツ科学実技A2 プレインターンシップ インターンシップ			スポーツ科学実技A 2 プレインターンシップ インターンシップ
		A III \$17.7												
		(49) <平成30年4月>												
兼担	教授	修士 (スポーツ科学) スポーツ科学実技A 1 スポーツ科学実技A 2	1											
		スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C インターンシップ												
		育 谷 美沙都		-		<u> </u>				-				
		(34) <平成30年4月> 修士(体育学)												
兼担	講師	参工 (体育学) プレインターンシップ	1											
			 		関根正数									
		関 根 正 敏 (34) <平成30年4月>			(34) <平成30年4月>									
兼担	准教授	修士 (体育学) プレインターンシップ	兼担	准教授	修士 (体育学) プレインターンシップ									
		相馬聡						相馬聡			相馬聡			相馬聡
		(39) <平成30年4月>			(39) <平成30年4月>			(40) <平成30年4月>			(41) <平成30年4月>			(42) <平成30年4月>
m.40		学士 (体育学)			学士 (体育学)			学士 (体育学)	***		学士 (体育学)	***		学士 (体育学)
兼担	助教	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2	兼担	助教	スポーツ科学実技A 1 スポーツ科学実技A 2 スポーツ科学実技C	*	担	スポーツ科学実技A 1 スポーツ科学実技A 2 スポーツ科学実技B スポーツ科学実技C	兼担	計算	スポーツ科学実技 A 1 スポーツ科学実技 A 2 スポーツ科学実技 B スポーツ科学実技 C	兼担		スポーツ科学実技A 1 スポーツ科学実技A 2 スポーツ科学実技B スポーツ科学実技C
		スポーツ科学実技C プレインターンシップ			スホーツ科字美技で プレインターンシップ			スポーツ科学実技 C プレインターンシップ			スポーツ科学実技 C ブレインターンシップ			スポーツ科学実技 C ブレインターンシップ
		高橋秀行			高橋秀行 (59)			高 橋 秀 行			高橋秀行(61)			高 積 秀 行
兼担	教授	<平成30年4月> 修士(農学)	兼担	教授	<平成30年4月> 修士(農学)	١.	担 教授	<平成30年4月> 修士(農学)	兼担	教授	<平成30年4月> 修士(農学)	兼担	教授	<平成30年4月> 修士(農学)
26.111	TALK	プレインターンシップ コンピュータリテラシー 2	*1=	TALK	プレインターンシップ コンピュータリテラシー2	^	10 TAIA	プレインターンシップ コンピュータリテラシー 2	36.11	TALK	プレインターンシップ コンピュータリテラシー2	36.111	7010	プレインターンシップ コンピュータリテラシー 2
			1 -											
養組	教授	(53) <平成30年4月> 修士(理學)	兼担	- 1	(54) <平成30年4月> 修士(理學)		组织技	(55) <平成30年4月> 修士(理学)	兼组	0 .15	(56) <平成30年4月> 修士 (理学)	##	●数	(57) <平成30年4月> 修士(理學)
	w.D.	コンピュータリテラシー2		-	コンピュータリテラシー2	"		コンピュータリテラシー2	30.00	-	コンピュータリテラシー2		W. 100	コンピュータリテラシー2
		趙二雄古	1 -		趙 鏞 吉			趙二雄古			趙 輔吉			趙 輔吉
兼担	教授	(58) <平成30年4月> 博士(学術)	兼担	教授	(58) <平成30年4月> 博士 (学術)	١.	担 教授	(59) <平成30年4月> 博士(学術)	兼担	教授	(60) <平成30年4月> 博士(学術)	兼担	教授	(61) <平成30年4月> 博士(学術)
寒坦	教授	情報と社会	米担	教授	情報と社会	,	担契技	情報と社会	米担	教授	情報と社会	漱担	教授	情報と社会
		那須野 公 人 (64)	l		那須野 公 人 (64)				-		プレインターンシップ			プレインターンシップ
	m :-	(64) <平成30年4月> 修士(経済学)			(64) <平成30年4月> 修士(経済学)									
兼担	教授	#エ (粒が子) プレインターンシップ	兼担	教授	事工 (経済手) プレインターンシップ									
		類 □ 樹			類 □ 物	<u> </u>		種 口 徹			徒 口 微			植口 徹
		(48) <平成30年4月>			(48) <平成30年4月> 博士(経営学)			(49) <平成30年4月> 博士(経営学)			(50) <平成30年4月> 博士(経営学)			(51) <平成30年4月> 博士(経営学)
兼担	教授	修士 (経営学) プレインターンシップ	兼担	教授	博士 (経営学)	3	担 教授	博士 (経営学)	兼担	教授	博士 (経営学)	兼担	教授	博士 (経営学)
<u> </u>		福田将史			福田将史	<u> </u>		福田将史			福田将史			福田将史
		(59) <平成30年4月>			(59) <平成30年4月>			(60) <平成30年4月>			(61) <平成30年4月>			(62) <平成30年4月>
2010	40-4111	修士 (体育学)	w+c	40-400	修士 (体育学)		tn 40.00	修士 (体育学)	***	40.470	修士 (体育学)	90.40	49-177	修士 (体育学)
兼担	教授	健康・スポーツ概論 スポーツ科学実技 C プレインターンシップ	兼担	教授	健康・スポーツ概論 スポーツ科学実技 C プレインターンシップ	*	担 教授	スポーツ等学典技 A 1 健康・スポーツ概論 スポーツ科学実技 C	兼担	教授	スポーツ科学実技A 1 スポーツ科学実技A 2 健康・スポーツ振論	兼担	教授	スポーツ科学実技A 1 スポーツ科学実技A 2 健康・スポーツ板論 スポーツ科学実技C
		プレインターンシップ			プレインターンジップ			スポーツ科学実技C プレインターンシップ			スポーツ科学実技 C プレインターンシップ			スポーツ科学実技 C プレインターンシップ
		首構製用用			# #_ FF #	\vdash		首権明期			前 柳 明 胡			首権関策
兼担		前機明期 (56) <平成30年4月> 參士(報告学)(表理士)	業組	- 1	前 機 明 期 (57) <平成30年4月> 修士(銀營学)(初週士)	_	组织技	前機明期 (58) <平成30年4月> 修士(極當学)(表理士)	兼担		前 機 明 第 (59) <平成30年4月> 參士(報當学)(税理士)	養担		前機明期 (80) <平成30年4月> 修士(報告学)(税理士)
原组	教授	キャリアデザイン2	***	₩.	キャリアデザイン2	*	组像技	キャリアデザイン2	- 東盤	教授	キャリアデザイン2 インターンシップ	7E	教授	キャリアデザイン2 インターンシップ
							组织技	元 木 宝 (56) <平成30年4月> 博士 (政治学)	兼担	00.00	元 木 至 (57) <平成30年4月> 博士 (政治学)	兼担	00.00	元 木 委 (58) <平成30年4月> 博士 (政治学)
			1					博士(政治学) インターンシップ			博士(政治学) インターンシップ			博士(政治学) インターンシップ
		山下裕介			山下裕介			山下裕介			山下裕介			山下裕介
兼担	准教授	(37) 〈平成30年4月〉 博士 (商学)	兼担	准教授	(37) 〈平成30年4月〉 博士 (商学)		担 准教担	(38) <平成30年4月> 博士(商学)	兼担	准教授	(39) <平成30年4月> 博士 (商学)	兼担	准教授	(40) 〈平成30年4月〉 博士 (商学)
水担	准叙授		寒坦	准教授		*	= 准教計	コンピュータリテラシー2	末担	准教授	コンピュータリテラシーク	本担	准教授	コンピュータリテラシーク
		コンピュータリテラシー2	J L		コンピュータリテラシー2			コンピューダリテラシー2 現代社会の前周提C			現代社会の管問題で プレインターンシップ			現代社会の管局圏で プレインターンシップ
. ——						•			•					

専任・			専任・	· ·		専任・	1		-	任・			専任・		
券担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	担・任	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
						-		小 珠 青 年 (36) <令和元年4月> 博士 (体育科学)	F			小 林 青 年 (37)	-		
						茅組	准療器	く令和元年4月> 修士 (体育科学) プレインターンシップ コンピュータリテラシー2 スポーツ科学変技 C		兼担	准療授	(3/) <令和元年4月> 博士(休育科学) ブレインターンシップ コンピュータリテラシー 2 スポーツ科学委技 C			
						兼担	特任	参 本 實 夫 (62) 〈令和元年4月〉 学士 (後世学) プレインターンシップ		兼担	特任機模	ジ 本 育 夫 (63) <令和元年4月> 辛士 (器書学) プレインターンシップ	兼担	砂任 使提	移 本 青 夫 (64) 〈令和元年4月〉 李士 (極震学) プレインターンシップ
						兼组	特任 准教授	間 第 年 (38) (38) (今和元年4月) 博士 (総合政策) プレインターンシップ		兼担	准軟提	(30) <令和元年4月> 博士 (総合政策) プレインターンシップ			
						*4	特任准章技	中 川 仁 養 (31) (令和元年4月) 博士 (施済中)		兼担	准备提	中 川 仁 義 (32) 様士 (最終年) 〈令和元年4月〉	業担	准备数	中 川 仁 義 (33) 博士 (優秀学) 〈令和元年4月〉 ブレインターンシップ
兼担	特任講師	森 亮 太 (39) <平成30年4月> 学士(理学)	兼担	特任講師	森 亮 太 (39) <平成30年4月> 学士(理学)	兼担	特任講師	森 亮 太 (40) (平成30年4月> 学士(理学)	F	兼担	特任講師	森 亮 太 (41) (平成30年4月> 学士(理学)	兼担	特任講師	森 亮 太 (42) 〈平成30年4月〉 学士(理学)
		プレインターンシップ			プレインターンシップ	兼组	特征政府	プレインターンシップ 石川 管 (31) <令和元年4月> 修士 (共4年)		兼担	18.60	プレインターンシップ 石川 智 (32) (32) (今和元年4月) 後士 (休育事)	***	nt in	プレインターンシップ 石川 音 (33) (今和元年4月) 後士 (体育学)
								プレインターンシップ インターンシップ		兼担	特在政策	プレインターンシップ インターンシップ 石川 原業 (34) <令和元年4月>	兼担	iệm	プレインターンシップ インターンシップ 石川 順章 (35) <令和元年4月>
												プレインターンシップ			プレインターンシップ
						*41	特任政府	今 書 帯 (38) 〈令和元年4月〉 修士 (体育学) プレインターンシップ		兼担	特任諮詢	今 書 榜 (37) (37) (今和元年4月) (6年 (体育学) プレインターンシップ	***	18:00	今 曹 裕 (38) (38) (令和元年4月> 帝士 (体育学) ブレインターンシップ
								芳 (33) <令和元年4月> 修士(スポーツ科学)	F			野 富 電 (34) <令和元年4月> 修士(スポーツ科学)			芳 藤 麗 (35) <令和元年4月> 修士 (スポーツ製学)
						兼组	特任諮詢	修士 (スポーツ料学) プレインターンシップ スポーツ科学変技 A 1 スポーツ科学変技 A 2		兼担	18.00	参士 (スポーツ製学) プレインターンシップ スポーツ製学実技 A 1 スポーツ製学実技 A 2	兼担	准备费	修士 (スポーツ科学) プレインターンシップ スポーツ科学実技A 1 スポーツ科学実技A 2
		青木章彦 (60) <平成30年4月>			青木章彦 (60) <平成30年4月>			青木章彦 (61) <平成30年4月>	Ī			青木章彦 (62) <平成30年4月>			青 木 章 彦 (63) <平成30年4月>
兼任	講師	農学修士 生活科教育法(初等)	兼任	調節	農学修士 生活科教育法(初等)	兼任	講師	農学修士 生活科教育法(初等)		兼任	講師	農学修士 生活科教育法(初等)	兼任	講師	農学修士 生活科教育法(初等)
兼任	講師	及 香椒 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4 (4	兼任	講師	及 香椒 (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年)	兼任	3萬6万	及 香椒 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)							
兼任	講師	大模田 裕 (62) 〈平成30年4月〉 学士	兼任	講師	大模田 裕 (62) 〈平成30年4月〉 学士	兼任	2萬6百	大根田 裕 (63) <平成30年4月> 学士							
		算数科教育法(初等)			算数科教育法(初等)			算数科教育法(初等)							
兼任	講師	加藤謙一 (58) 〈平成30年4月〉 博士(体育科学) 体育科教育法(初等)	兼任	調節	加藤謙 (58) <平成30年4月> 博士(体育科学) 体育科教育法(初等)	兼任	講師	加 藤 謙 一 (59) 〈平成30年4月〉 博士(体育科学) 体育科教育法(初等)		兼任	講師	加藤謙一(60) <平成30年4月> 博士(体育科学) 体育科教育法(初等)	兼任	調節	加藤謙一 (61) 〈平成30年4月〉 博士(体育科学) 体育科教育法(初等)
兼任	20.00	加 整 億 司 (65) 〈平成30年4月〉	兼任	20.00	加 整 億 司 (66) 《平成30年4月》	兼任	ne ne	加 整 億 司 (67) 《平成30年4月》	-	蒙住	1844	加 施 使 司 (68) <平成30年4月>			
		日本要表演法 1 日本要表演法 2			日本語表現法 1 日本語表現法 2			日本語表現法 1 日本語表現法 2				日本語表現法 1 日本語表現法 2			
兼任	講師	高野美司 (57) 〈平成30年4月〉 学士	兼任	講師	高 野 英 司 (57)	兼任	講師	高 野 英 司 (58) 〈平成30年4月〉 学士		兼任	講師	高野東司 (60) 〈平成30年4月〉 学士	兼任	2萬台市	高 野 英 司 (61) <平成30年4月> 学士 小学校社会
兼任	講師	木 下 大 輔 < T (51) < T (30年4月 > 修士 (音楽) 音楽科教育法(初等)	兼任	講師	木 下 大 輔 (51) < 平成30年4月 > 修士 (音楽) 音楽科教育法(初等)	兼任	2萬6百	木 下 大 輔 (52) <平成30年4月> 修士 (音楽) 音楽科教育法(初等)		兼任	講師	木 下 大 輔 (53) 〈平成30年4月〉 修士 (音楽) 音楽科教育法(初等)	兼任	2月95	末 下 大 輔 (54) < 平成30年4月 > 修士 (音楽) 音楽科教育法(初等)
		狐塚貴博			狐坂青埔	<u> </u>			F			狐塚貴博			租坂青埔
兼任	講師	無 様 具 序 (40) 《平成30年4月> 生徒指導と進路指導(小・中・高)	兼任	講師	(40) 《平成30年4月> 生徒指導と進路指導(小・中・高)	兼任	講師	狐 塚 貴 博 (41) <平成30年4月> 生徒指導と進路指導(小・中・高)		兼任	講師	24 ペリ (42) <平成30年4月> 生徒指導と進路指導(小・中・高)	兼任	調節	(43) 《平成30年4月> 生徒指導と進路指導(小・中・高)

専任・			専任・			専任・		ı	専任 ·	1		専任·	1	
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	長 澤 順 (46) (平成30年4月) 修士 小学校音楽	兼任	講師	長 澤 順 (46) (平成30年4月) 修士 小学校音楽	兼任	講師	長 準 順 (47) (平成30年4月> 修士	兼任	講師	長 澤 順 (48) (平成30年4月> 修士 小学校音楽	兼任	2月65	長澤順 (49) 《平成30年4月》 修士
兼任	講師	増 茂 智 子 (58) (平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	増 茂 智 子 (58) (平成30年4月> 教育学修士	兼任	3两台市	増 茂 智 子 (59) 《平成30年4月》 教育学修士	兼任	2青5页	增 茂 智 子 (60) (平成30年4月> 教育学修士	兼任	3角65	增 茂 智 子 (61) 《平成30年4月》 教育学修士
兼任	講師	平 塚 昭 仁 (51) 《平成30年4月》 学士 小学校体育	兼任	講師	平 塚 昭 仁 (51) 《平成30年4月》 学士 小学校体育	兼任	調節	平 塚 昭 仁 (52) 〈平成30年4月〉 学士	兼任	調節	平 塚 昭 仁 (53) < 平成30年4月 > 学士	兼任	2青6万	平 塚 昭 仁 (54) <平成30年4月> 学士 小学校体育
兼任	講師	泡 本 喜代正 (63) 《平成30年4月》 教育字修士 知的障害児教育総論 知的障害児教育課程論	兼任	講師	港 本 喜代正 (63) 《平床30年4月》 教育字修士 知的障害児教育総論 知的障害児教育課程論	兼任	講師	港 本 舊代正 (64) 《平原30年4月》 教育学修士 知的障害児教育総論 知的障害児教育課程論	兼任	講師	池 本 高代正 (65) 《平成30年4月》 教育学修士 知的隨著児教育総論 知的隨著児教育課程論	兼任	講師	池 本 喜代正 (66) 《平成30年4月》 教育学修士 知的障害児教育総論 知的障害児教育課程論
兼任	講師	澤田 実 (64) 〈平成30年4月〉 生涯学習概論	兼任	講師	澤田 実 (64) 〈平成30年4月〉 生涯学習概論	兼任	講師	準 田 実 (65) 〈平成30年4月〉 生涯学習概論	兼任	講師	準 田 実 (66) <平成30年4月> 生涯学習概論	兼任	2件9万	澤 田 実 (67) <平成30年4月> 生涯学習概論
兼任	講師	司 城 紀代美 (44) 《平成30年4月》 修士(教育学) 知的障害児・者心理学	兼任	講師	司 城 紀代美 (44) (平成30年4月> 修士(教育学) 知的障害児・者心理学	兼任	講師	可 城 紀代美 (45) 〈平成30年4月〉 修士(教育学) 知的障害児・者心理学	兼任	講師	可 城 紀代美 (46) (平成30年4月> 修士(教育学) 知的障害児・者心理学	兼任	3青旬	司 城 紀代美 (47) 《平成30年4月》 修士 (教育学) 知的障害児・者心理学
兼任	講師	第 木 麻 央 (29) 《平成30年4月》 修士 视覚障害教育	兼任	講師	# 本 麻 央 (29) <平成30年4月> 修士 振覚障害教育	兼任	調節	* 麻 央 (30)(30)44月> ** ##################################						
兼任	講師	歴 丸 新 - (39) 《平成30年4月》 教育字様士 聴覚障害者教育総論	兼任	講師	歴 丸 新 - (39) 《平成30年4月》 教育字様士 聴覚障害者教育総論	兼任	講師	歴 丸 新 - (40) 《平成30年4月> 教育学修士 験覚障害者教育総論						
兼任	講師	任 擬在 (41) <平成30年4月> 博士 (贈書科学) 該体不自由者教育総論	兼任	講師	任 擬在 (41) <平成30年4月> 博士 (贈客科学) 該体不自由者教育総論	兼任	講師	任 報在 (42) (42) (42) (42) (42) (42) (42) (42)	兼任	講師	任 離在 (43) <平成30年4月> 博士 (障害科学)			
兼任	講師	栗 山 宣 夫 (50) 《平成30年4月》 教育学修士	兼任	講師	栗 山 宣 夫 (50) (平成30年4月> 教育学修士	兼任	調節	栗 山 宣 夫 (51) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	栗 山 宣 夫 (51) 《平成30年4月》 教育学修士	兼任	2件6万	栗 山 宣 夫 (52) 〈平成30年4月〉 教育学修士
兼任	講師	関 澤 慎 — (40) 《平成30年4月> 博士 (教育学) 重複障害教育	兼任	講師	関 澤 慎 — (40) 《平成30年4月> 博士 (教育学) 重複障害教育	兼任	講師	間 澤 慎 (41) 《平成30年4月》 博士(教育学)	兼任	講師	国 澤 慎 — (42) 《平成30年4月》 [博士 (教育学)	兼任	講師	関 澤 慎 — (43) 《平成30年4月》 博士(教育学) 重複障害教育
兼任	講師	小林とし子 (64) <平成30年4月> 教育字修士 文章表現法 日本文学史A 日本古典文学研究A 日本古典文学研究B	兼任	講師	小 林 とし子 (64) <平成30年4月> 教育字修士 文章表現法 日本文学史A 日本古典文学研究A 日本古典文学研究B	兼任	調節	小 林 とし子 (55) < 平成30年4月> 教育学修士 文章表現法 日本文学史 A 日本古典文学研究 A 日本古典文学研究 B	兼任	調節	小 林 とし子 (66) < 平成30年4月> 教育字修士 文章表現法 日本文学史A 日本古典文学研究A 日本古典文学研究B	兼任	調節	小林とし子 (67) (平成30年4月> 教育学修士 文章表現法 日本文学史名 日本古典文学研究A 日本古典文学研究B
兼任	講師	小 池 清 治 (76) 《平成30年4月> 日本人の書話史 A 日本人の書話史 B												
兼任	講師	爺 木 啓 子 (56) < 平成30年4月> 修士 (文学) 日本文学史 D	兼任	講師	爺 木 啓 子 (56) <甲底30年4月> 修士 (文学) 日本文学史 D	兼任	調節							
兼任	講師	中 原 睦 奏 (61) <平成30年4月> 字士 (文学) 書連 A 書連 B	兼任	講師	中 原 睦 奏 (61) <平成30年4月> 字士 (文学) 書連 A 書連 B	兼任	調節	中原達美(52) 〈平成30年4月〉 学士(文学) 審選A 審選B	兼任	調節	中原達奏 (63) 〈平成30年4月〉 学士(文学) 審選A 審選B	兼任	調節	中原 睦 美 (64) 《平成30年4月》 学士 (文学) 書道A 書道B
兼任	講師	西田直樹 (52) 《平成30年4月》 博士(文学) 日本文学史C 歴史学 とちぎ学	兼任	講師	西田 直樹 (52) < 平成30年4月 > 博士 (文学) 日本文学史 C 歴史学 とちぎ学	兼任	調節	西田道樹 (53) 〈平成20年4月〉 博士(文学) 日本文学史 C 歴史学 とちぎ学	兼任	講師	西田 直樹 (54) < 平成30年4月> 博士 (文学) 日本文学史 C 歴史学 とちぎ学 文学	兼任	3青6市	西田 直樹 (55) (55) (57) (57) (57) (57) (57) (57)

専任・		T	専任・	T	T	1	専任・		T	1	専任・			専任	. 1		
兼担・		氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	兼担・		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>		兼担・		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>		兼担・		氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	兼担			氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
兼任 の別	職名	<就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任の別	職名	<就任 (予定) 年月> 保有学位等		兼任 の別	職名	<就任 (予定) 年月> 保有学位等		兼任の別	職名	<就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼任の別		職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
37,7		担当授業科目名	-		担当授業科目名		**************************************		担当授業科目名	-	******		担当授業科目名	07//			担当授業科目名
			-						IE-IK-WIT II II				25-12-17-11-11				ENAME
		藤 田 祐 (31) <平成30年4月>			藤 田 祐 (31) <平成30年4月>												
兼任	講師	日本近代文学研究 C 日本近代文学研究 D	兼任	講師	日本近代文学研究 C 日本近代文学研究 D												
									22 4b 7				空 年 4 7				22 22 46 7
		守 安 敏 久 (58) <平成30年4月> 修士(文学)			守 安 敏 久 (58) <平成30年4月> 修士(文学)				守 安 敏 久 (59) <平成30年4月> 修士(文学)				守 安 敏 久 (60) <平成30年4月> 修士(文学)				守 安 敏 久 (61) <平成30年4月> 修士(文学)
兼任	講師	日本近代文学研究A	兼任	講師	日本近代文学研究A		兼任	講館市	日本近代文学研究A	-	兼任	講師	日本近代文学研究A	*	任	講師	日本近代文学研究A
		日本近代文学研究日			日本近代文学研究日				日本近代文学研究日				日本近代文学研究B				日本近代文学研究日
		飯 田 和 明 (56) <平成30年4月>			飯 田 和 明 (56) <平成30年4月>				飯 田 和 明 (57) <平成30年4月>	-							
兼任	講師	修士	兼任	調節	修士		兼任	講的	修士	-							
		国語科教育法1 国語科教育法3			国語科教育法 1 国語科教育法 3				国語科教育法 1 国語科教育法 3								
		山 中 勇 夫 (39)			山 中 勇 夫 (39)				山 中 勇 夫 (40)	-			山 中 勇 夫 (41) <平成30年4月>				山 中 勇 夫 (42)
		<平成30年4月> 修士			<平成30年4月> 修士				<平成30年4月> 修士				<平成30年4月> 修士				<平成30年4月> 修士
兼任	講師	国語科教育法 2 国語科教育法 4	兼任	講師	国語科教育法 2 国語科教育法 4		兼任	講館	国語科教育法 2 国語科教育法 4		兼任	講師	国語科教育法 2 国語科教育法 4	*	任	講師	国語科教育法 2 国語科教育法 4
									INSULTED PART	_			III 001777 F7 AA 7				E BB 17 7A F1 JA 7
		赤羽薫 (69) <平成30年4月>			赤 羽 薫 (69) <平成30年4月>												
兼任	講師		兼任	調節													
		デザイン論			デザイン論												
		安齋薫 (42) <平成30年4月>			安 齋 薫 (42) <平成30年4月>				安 齋 薫 (43) <平成30年4月>				安 齋 薫 (44) <平成30年4月>				安 齋 薫 (45) <平成30年4月>
兼任	講師		兼任	講師			兼任	講館市			兼任	講師		*	任	講師	
		英語A3 英語A4			英語A3 英語A4				英語A3 英語A4				英語A3 英語A4				英語A3 英語A4
		石川美和(53)			石川美和(53)				石川美和(54)				石川美和 (55)				石川美和 (56)
		(53) <平成30年4月>			(53) <平成30年4月>				(54) <平成30年4月>	-			(55) <平成30年4月>				(36) <平成30年4月>
兼任	講師	日本語A1b	兼任	調節	日本語A1b		兼任	調節	日本語A1b 日本語A2b		兼任	講師	日本語A1b 日本語A2b	*	任	講師	日本語 A 1 b 日本語 A 2 b
		日本語A2b日本語A3b日本語A3b日本語A4b			日本語A2b日本語A3b日本語A3b日本語A4b				日本語 A 3 b 日本語 A 4 b 日本語 A 1 a 日本語 A 2 a				日本語 A 3 b 日本語 A 4 b 日本語 A 1 a 日本語 A 2 a				日本語 A 3 b 日本語 A 4 b 日本語 A 1 e 日本語 A 2 e
									HAMAZ &				HAMAZ &				HAMA 2 a
		稲 葉 茂 (66) <平成30年4月>			稲 葉 茂 (66) <平成30年4月>				稲 葉 茂 (67) <平成30年4月>				稲 葉 茂 (68) <平成30年4月>				稲 葉 茂 (69) <平成30年4月>
兼任	講師	\T#30447/	兼任	講師	\T#30447/		兼任	調節	\T,00447\		兼任	講師	\T#30447>	*	任	講師	\T####
		現代社会の諸問題C			現代社会の諸問題C				現代社会の諸問題C				現代社会の諸問題C				現代社会の諸問題C
		佐藤淳一(51)			佐藤淳一(51)				佐藤淳 — (52)	1			佐藤淳一(53)				佐藤淳一(54)
		<平成30年4月>	-		<平成30年4月>				<平成30年4月>				<平成30年4月>				<平成30年4月>
兼任	講師	初級フランス語 1-1 初級フランス語 1-2 初級フランス語 2-1 初級フランス語 2-2	兼任	講師	初級フランス語 1-1 初級フランス語 1-2 初級フランス語 2-1 初級フランス語 2-2		兼任	講師	初級フランス語 1-1 初級フランス語 1-2 初級フランス語 2-1 初級フランス語 2-2 中級フランス語 1		兼任	講師	初級フランス語 1-1 初級フランス語 1-2 初級フランス語 2-1	*	任	講師	初級フランス語 1-1 初級フランス語 1-2 初級フランス語 2-1
		初級フランス語 2-2 中級フランス語 1 中級フランス語 2			初級フランス語2-2 中級フランス語 1 中級フランス語 2				初級フランス語 2-2 中級フランス語 1 中級フランス語 2				初級フランス語 2-2 中級フランス語 1 中級フランス語 2				初級フランス語 2-2 中級フランス語 1 中級フランス語 2
		渋 谷 - 夫 (64)			渋 谷 - 夫 (64)				渋 谷 - 夫 (65)								
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	講師	<平成30年4月>		兼任	調節	<平成30年4月>								
Ale Lin	8450	科学技術論		8450	科学技術論			snov	科学技術論								
		杉山晴信			杉山晴信				杉山晴信								
		(60)	1		(60) (平成30年4月>				(61) 〈平成30年4月〉								
兼任	講師	英語 C 1 英語 C 2	兼任	講師	英語 C 1 英語 C 2		兼任	講館市	英語 C 1 英語 C 2								
			l L_														
		鈴 木 綾 子 (43) <平成30年4月>			鈴 木 綾 子 (43) <平成30年4月>				鈴 木 綾 子 (44) <平成30年4月>				鈴 木 綾 子 (45) <平成30年4月>				鈴 木 綾 子 (46) <平成30年4月>
		997	1		975												
兼任	講師	日本語 A 3 a 日本語 A 4 a 日本語 B 1 日本語 B 2	兼任	講師	日本語 A 3 a 日本語 A 4 a 日本語 B 1		兼任	講館	日本語A3a 日本語A4a 日本語B1 日本語B2		兼任	講師	日本語A3a 日本語A4a 日本語B1 日本語B2	*	任	講師	日本語 A 3 a 日本語 A 4 a 日本語 B 1 日本語 B 2
		日本語 B 2			日本語B1 日本語B2				日本語 B 2 日本語 B 3 日本語 B 4				日本語 B 2 日本語 B 3 日本語 B 4				日本語 B 2 日本語 B 3 日本語 B 4
		スミス クリス (38)	1 —		スミス クリス (38)				スミス クリス	1			スミス クリス (40)		-		スミス クリス
		(38) <平成30年4月>			(38) <平成30年4月>				スミス クリス (39) <平成30年4月>				(40) <平成30年4月>				スミス クリス (41) <平成30年4月>
兼任	講師	英語 B 3 英語 B 4 英語 D 2	兼任	講師	英語 B 3 英語 B 4 英語 D 2		兼任	講館	英語 B 3 英語 B 4 英語 D 2		兼任	講師	英語B 1 英語B 2	*	任	講師	英語B 1 英語B 2
		宋 美 妍 (54) <平成30年4月>			宋 美 妍 (54) <平成30年4月>				宋 美 妍 (55) <平成30年4月>				宋 美 妍 (56) <平成30年4月>				宋 美 妍 (57) <平成30年4月>
兼任	講師	初級韓国語 1-1 初級韓国語 1-2	兼任	調節	初級韓国語 1-1 初級韓国語 1-2	İ	兼任	講館	初級韓国語 1-1 初級韓国語 1-2		兼任	講師	初級韓国語 1 - 1 初級韓国語 1 - 2	*	任	講師	初級韓国語 1 - 1 初級韓国語 1 - 2
		初級韓国語 1 - 2 初級韓国語 2 - 1 初級韓国語 2 - 2 中級韓国語 1			初級韓国語 1-2 初級韓国語 2-1 初級韓国語 2-2 中級韓国語 1				初級韓国語 1-2 初級韓国語 2-1 初級韓国語 2-2 中級韓国語 1				初級韓国語 1-2 初級韓国語 2-1 初級韓国語 2-2 中級韓国語 1				初級韓国語 1 - 2 初級韓国語 2 - 1 初級韓国語 2 - 2 中級韓国語 1
		中級韓国語 2			中級韓国語 2				中級韓国語 2				中級韓国語 2				中級韓国語 2
		田 中 見太郎 (67) <平成30年4月>															
兼任	講師		1							1							
		哲学															
		三 井 英 紀 (38)			地 村 評 道 (64)				地村好道	1			地 村 好 道 (68)				池 村 好 道 (67)
兼任	講師	<平成30年4月>	兼任	調節	<平成30年4月>		兼任	講館	<平成30年4月>	1	兼任	講師	<平成30年4月>	*	任	講師	<平成30年4月>
		憲法入門			憲法入門				憲法入門		_		憲法入門				憲法入門
<u> </u>			J L	1		l	<u> </u>			1				L			

専任・	ı —		専任・			1	専任・			at a	任・			専任・		
兼担· 兼任	職名	氏 名 (年 胎) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担· 兼任	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等		兼担· 兼任	職名	氏 名 (年 胎) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	担・任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 胎) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
の別		担当授業科目名	の別		担当授業科目名		の別		担当授業科目名	0)	別		担当授業科目名	0759		担当授業科目名
		渡 部 文 子 (50) <平成30年4月>			渡 部 文 子 (50) <平成30年4月>				渡 部 文 子 (51) <平成30年4月>				渡 部 文 子 (52) <平成30年4月>			渡 部 文 子 (53) <平成30年4月>
兼任	講師	英語 B 1 英語 B 2 英語 B 3 英語 B 4	兼任	講師	英語 B 1 英語 B 2 英語 B 3 英語 B 4		兼任	講師	英語 B 1 英語 B 2 英語 B 3 英語 B 4		兼任	講師	##0-1 ##0-2 ##0-3 ##0-4 ##0-4 ##0-4 ##0-4 ##0-4 ##0-4 ##0-4 ##0-2 ##0-3 #0-3	兼任	講師	英語 9-1 英語 9-2 英語 9-3 英語 9-4 英語 A-2 英語 A-3 英語 A-3
							兼任	Min	川 口 撤 子 (40) <令和元年4月>		兼任	nt der	川 口 撤 子 (50) <令和元年4月>	兼任	18.00	川 口 歳 子 (51) 〈令和元年4月〉
									美丽A 1 美丽A 2				英語 A 1 英語 A 2 英語 A 3 英語 A 4			英語 A 1 英語 A 2 英語 A 3 英語 A 4
							兼任	1844	日 高 強 傷 (34) 《令和元年4月》 修士 (衛育學) 如約陳書の題如心理學 如約陳書兒・者主理心理學 宣訓陳書兒・者主理心理學		兼任	10.64	日 高 茂 傷 (35) 《令和元年4月》 修士 (衛育學) 知的陳書の羅如心理學 知的陳書兒 - 者生理心理學 書面於華教青	兼任	n.	日高度 (38) (38) (今和元年4月> 帝士 (徽传学) 如約隆客の鑑知心理學 知約隆客兒・帝生祖心理學 理解發展中
		雅田様介 (43) <平成30年4月> 修士(教育学)			集田 被介 (44) 〈平成30年4月〉 修士(徽育学)				雅田様介 (45) 〈平成30年4月〉 修士(徽青学)				章 田 被 介 (46) 〈平成30年4月〉 修士 (教育学)			集田 植 介 (47) 〈平成30年4月〉 修士(徽青学)
兼任	20.00	(本版30年4月/ 修士(教育学) 社会料教育法(初等)	兼任	18.64	・		兼任	MM	・		兼任	II	・	兼任	1846	・
兼任	***	本田 周 (78) (令和元年4月) 博士 (理学)	兼任	10.00	太田 月 (79) 〈令和元年4月〉 博士 (集中) 環境論		兼任	18.00	太田 周 (80) <令和元年4月> 韓士 (理學)		兼任	nter	本田 周 (81) <令和元年4月> 樹士 (選挙)			
											兼任	MIN.	小 禁 干較子 (85) (48) (48) (48) (44) (44) (44) (44) (44			
											兼任	1844	■ 本 - 男 (65) <令和2年4月> 修士(社会學)			
										-			キャリアデザイン 1 専門練習A・C 彩山 間一 (58) <令和元年4月>			影山 昭一 (59) <令和元年4月>
											兼任	1844	<令和元年4月> 外国顧宏酷の指導法(初等)	兼任	***	<令和元年4月> 外国際活施の指導法 (初等)
											兼任	mm.	福田 養之 (57) <令和元年4月>			
													現代社会の諮問組A			Market Market
											兼任	mm.	ギャピン・ジェームス (42) 〈令和2年4月〉 美麗 B 1 美麗 B 2	兼任	84	ギャピン・ジェームス (43) <令和2年4月> 英語 B 1 英語 B 2
							-			-			油花 寛	-		集在 室 (61) <令和2年4月>
											兼任	1844	《令和2年4月》 算數與數方法(初等)	兼任	***	《令和2年4月》 算職判备育法(初等)
											蒙任	giar.	白馬 克際 (38) (今都244月> 博士 (文學) 日本文學史D	意任	n in	白馬 克等 (37) 〈奇配2年4月〉 博士 (文學) 日本文學史 D
											兼任	1844	#并 坐子 (57) 《令和2年4月》 家庭科教育法 (初等)	兼任	10.00	梅井 圭干 (58) 《令和2年4月》 家庭判象育法 (初等)
											兼任	na e	泰日 正男 (74) <令和2年4月> とち哲学	兼任	g:m	泰日 正男 (75) <令和2年4月> とち哲学
											蒙任	1844	阿德			
														兼任	18.00	市田 油油 <令和3年4月>
	40 th de dit	DEB10期女の練細+約21 //	April - Capture date -	21.74	年度末時点の情報として記入してく											現代社会の諸問題A

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(適年度)については、各年度末時点の情報として記入してください。) ・ 認可申請書文は設定周出書の材本策まる寺 (その201) に乗じて作成してください。
 ・ 「認可申及は周出時」には 設置認可申及は周出時の敬負金で (発任、乗担教員を含む。) を黒字む記入してください。
 その上で、**選可者文法出出時から享定となっている箇所は末年の妻子としてください。**・ 毎個の作成方法は「大字の設置等に係る認出書解析点の手引き」の「教具名音」を確認してください。
 ・ 年前は、**生れぞれの年度の5月1日時点の選手機**を記入してください。
 ・ 専任 (専門職大字等は事、実事、実 (等)、実み)、美別、兼任の際に記入してください。
 ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成20年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【平成30年度】

- 【一版3 以 十度】 小川立なえ兼担教授就任辞退。他の兼担教員が担当可能。 ・ 菅谷美沙都兼担講師就任辞退。他の兼担教員が担当可能。 小池清治兼任講師就任辞退(本人死亡)。後任未定。 田中見太郎兼任講師就任辞退、後任未定。 ・ 三井英紀兼任講師就任辞退。池村好道兼任講師に担当者変更。

【令和元年度】

- 【令和元年度】

 玉城要専任教授 プレインターンシップ、卒論指導演習1、2 他の兼担教員が担当可能。
 池上啓専任教授 日本語教育概論 他学科設置科目のため削除(平成30年度記載誤り)
 小林干枝子専任教授 日本語教育概論 他学科設置科目のため削除(平成30年度記載誤り)
 小林干枝子専任教授 プレインターンシップ 他の兼担教員が担当可能。
 高浜浩二専任教授 プレインターンシップ 他の兼担教員が担当可能。
 大橋幸雄特任教授 プレインターンシップ、現代社会の諸問題B、担当追加。
 中山緑朗特任教授 プレインターンシップ、現代社会の諸問題B、担当追加。
 中山緑朗特任教授 日本語A1aA2a石川美和兼担講師へ担当変更。B3、B4鈴木綾子兼担講師へ担当変更。
 野村勝彦専任特任教授 デザイン論 赤羽薫兼任護師辞任により、担当。
 大村心和彦専任特任教授 デザイン論 赤羽薫兼任護師辞任により、担当。
 木村克彦兼担教授 英語A1、A2、A3、A4、B1、B2 他の兼担教員、兼任教員が担当可能。
 高畑哲男兼担教授 英語A1、A2、A3、A4、B1、B2 他の兼担教員、兼任教員が担当可能。
 高畑哲男兼担教授 英語A1、A2、A3、A4、B1、B2 他の兼担教員、東任教員が担当可能。
 原田明子兼担教授 英語表現法 他学科設置科目のため削除(平成30年度記載誤り)。小学校外国語 担当追加(設置時より担当科目あり 平成30年度記載誤り)
 山尾貴則兼担教授 ブレインターンシップ 他の兼担教員が担当可能。
 日高茂暢県担牲教授 兼任講師へ変更。基礎ゼミナール1、専門演習B・D、卒論指導演習1、2、インターンシップ、特別支援学校教育実習事前事後指導は他の専任、兼担教員が担当可能。

【令和2年度】

- 下がます。 玉城要専任教授 文章表現法担当追加(令和元年度記載漏れ) 小林千枝子専任教授 兼任講師へ変更。教職論(小・中・高)は川原准教授へ担当変更。 高柳秀史専任教授 プレインターンシップ担当追加。 高浜浩二専任教授 専門演習A/Cから専門演習B/Dへ担当科目変更

【令和3年度】

- ・高浜浩二専任教授 専門(演省B・D プレインターンシップ ほかの専任教授へ担当変更のため削除 知的障碍児教育法 担当追加 ・川原健太郎専任准教授 令和元年度就任 ・大橋幸雄専任特任教授 プレインターンシップ、国語科教育法、国語科教育法3、中学校教育実習 担当追加 ・木村直人専任特任教授 プレインターンシップ、現代社会の諸問題C 担当追加 ・中山緑制専任特任教授 令和2年度辞任 担当削除 ・野村勝彦専任特任教授 知的障害児教育法1、特別支援学校教育実習事前事後指導、特別支援学校教育実習、特別支援教育基礎(小中高)、卒論指導演習 1 、卒論指導演習 2 担当者
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **惣可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ 「等性教員採用等変更者(AG)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「OFO月教員番組なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専仟教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
 - (2) -② 専仟教員等数【大学】

		設置時	の計画				:	現在(報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
13	1	0	0	14	0	14	1	0	0	15	0
(15)	(1)	(0)	(0)	(16)	(1)						
	現在(報告時)の	完成年度時	が状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C ')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
14	1	0	0	15	0	14	1	0	0	15	0
[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、教員審査を受審済みであり、
 - **完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例: 1名減の場合: △1) ・「現在(報告時) の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢 (歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	6	6
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 ・「千事情成」には、ヨ政子部における教員の定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員教をび完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員教を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 設置時の計画(A) %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 現在(報告時)の状況(B) %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況 該当なし

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	ισ _N	担当予定科目	後任	補充状況	7	京	忧任辞退	(未	就任)の理	由	
-							-										
			!	승計	(D)						往	经任補充状 況	の集計	(F)			
Г	京	t任 ā	を辞	退した教員数		数の合計	(a)	+ (b) + (c)	①の合言	十数 (a)		②の合計		_/	③の合計	ł数 (c)
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	λ.	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					Ī	it	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) 一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	· 联	銭 位	専任教	員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	1	後任	補充状	況		刮	任等	の理由		
						必修	日本語	語表現法	1		2							
1	特	任教授	中山	緑朗	R3. 3	選択	日本	語表現法	2		2		R3. 3. 31	付け自	己都行	合のため辞作	£ (R3)	1
						必修	小学校国	語(書写を含	む)		2							
				스크	(F)		1					44	L 6任補充状況	の生計	(0)			
		辞任	した教員数	ţ	担当科目	関数の合計	(a) + (b) + (c)	(①の合計	数(a))	②の合計	十数 (b))	③の合語	✝数(c)
					必	修	2	科目	Ú	必修	0	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
					選	択	1	科目	ì	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		1		人	自	由	0	科目	E	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					Ī	†	3	科目		計	0	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)				後任補	前充状況の集	計(E)+	(G)	
辞任等した教員	数	担当科目数の合	i† (a) +	(b) + (c)	①の合計	l数 (a)	②の合計	十数 (b)	③の合計	†数 (c)
		必修	2	科目	必修	0 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	1	科目	選択	0 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
1	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	3	科目	計	0 科目	計	3 科目	計	0 科目

(3) -	④ 設置時の計i	面に対する数額	昌 拉仁索			
/			灵矿江平			
(3)-③合 (2)-②設	計(D)+(F) 置時の計画(A)	= 1	4 = 7.1	4 %		
(注) · 小	数点以下第3位をも	刃り捨て、小数点	以下第2位まで表:	示されます。		
(3) -	⑤ 令和2年度幸	服告書から、 翁	がたに辞任等した	専任教員等の状況	兄	
1						
(注) • (3) -①, (3) -②)で赤字で記載し	た専任教員数の合	計数を記載してくだ	さい。	
(3) -	⑥ 定年により	退職した専任教	教員に対する後任	E補充状況 該	当なし	
番号職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等	ŧ
						_

番	号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞日	E等の	理由		
<u> </u>																
-																
					合計	l .					後任補充料	犬況の第	計			
		辞	任l	した教員数	担当科目数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)		②の合計	十数(b)		③の合計	数 (c))
					必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			^		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ **定年により退職した全ての事任教員**についてに記入してください。 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	

(L = 7 (٥,	のまなれるなななに 1.7 当年の屋板笠 - の影響に明まる士豊の町日	##. 0 B/n+'+
(注)	•	上記(3)	の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、	学生への周知方法、
	4	今後の方	計な	どを可能な限り具体的に記入してください。	

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
認可時(平成30年)	該当なし	留意事項		履行中	
設置計画履行状況調查時(平成30年)	人間文化学部発達教育 学科において、入学定 員未充足の改善に努め ること。			履行中	令和2年度の入学を 過率0.8を目指す。 教育内容の「見報職学部人学 さらに図り、教職学部長へ ターの実務教員キャ学部長へ を種説により間が表して などにはりり、 などにはりり、 などにはりり、 などには などには などに は などに は なる。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	定員解表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	指摘事項 (改善)	平成30年度の入学定員超 過率が0.66であったが、平 成31年度は0.74まで改善 がされた。 配慮を要する児童生徒問題 に対応できる実践的指導力 や専門的力量育成を特徴と した教職実践センサーの本 格稼働の積極説明を行っ た。	履行中	令和2年度の入学定員超 過率0.8を目指す。 教育内容の15元。る化」を をらにのり、教員未実践セラーの実務が教員やマンパ校長 ターの実務が大会を をターの実務が大会を をターの実務が大会を は、大きなが、大きな をとして をとして をとして をとして をとして をとして をとして をとして
設置計画履行状況調查時(令和2年)	定年が表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	指摘事項(改善)	退人いす考ンにまけしを令超令過た過配にやし格を、は、国和過和率。本庫対す等とのの14年のの14年のの14年のの14年のの14年のの14年の14年の14年の1	履行中	教育内容の「見える化」を をの「見える化」を の「見える化」を の「見える化」を の「見える性別 をのして をを をのとの をを をのまの をのまの をのまる をのと を を を を のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと
設置計画履行状況調查時(令和3年)	定年年程程元本を担保を担保を担保を担保を担保を担保を担保を担保を担保を担保を担保を担保を担保を	指摘事項 (改善)	教育学等を担当する教員9名の内、令和2年度に定年 退職1名に対して45歳を 採用し(年齢平均56.4歳)、 教育実習を担当する教員6名は教職経験者(年齢平均 67.8歳を主に配置し実務 実習を強化している。	履行中	定年退職する教員の補充と して、中等教育科目、特別 支援教育科目、特別 自(教科)等を担当する複 数人の教員採用人事を計画 中である。

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を** 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間文化学部 発達教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし							

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部FD·SD委員会規程

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

別紙1のとおり

c 委員会の審議事項等

別紙1のとおり

- ② 実施状況
 - a 実施内容

別紙1のとおり

b 実施方法

別紙1のとおり

c 開催状況(教員の参加状況含む)

別紙1のとおり

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

別紙1のとおり

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

別紙1のとおり

b 教員や学生への公開状況、方法等

別紙1のとおり

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門	門職短期大学、	専門職学科、	専門職大学院以外は	「該当なし」	と記入ください。
該当なし					

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
別紙2のとおり
② 自己点検・評価報告書
a 公表(予定)時期
・平成27年6月 公表 ・令和2年5月31日公表予定
b 公表方法
・ホームページ上に公開
③ 認証評価を受ける計画
・令和4年度に財団法人日本高等教育評価機構の評価を受けるべく計画中です。
(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を
含めて記入してください。 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ
なの、「② 日ご点便・計画報告者」に りいては、 ヨ飲制宜対象の組織に関する計画内存を含む取占者に りいて記入してください。
(5) 情報公表に関する事項
○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)
a 公表予定の有無 〔 有 · 無 〕

0 1	设置計画履行状況報告	畫	(会和3年度))					
,			-	,					
а	公表予定の有無	[有	•	無)			
≪a⁻	で「有」の場合≫								
b	公表(予定)時期	ĺ	令和3年6	月中予定	.)				
С	公表方法	[ウェブサイ	トへの掲	載)			
≪a ⁻	で公表「無」の場合≫								
d	公表しない理由	ſ							

といる。 ※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

①実施体制

- a 委員会の設置状況 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 FD・SD 委員会
- b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等

2020 年度 F D · S D 委員会会議の開催状況

第 1 回FD·SD委員	2020年6月3日(水)	・授業評価アンケートの実施について
会&教育開発セクシ		・国語基礎力調査の実施について
ョン合同会議		
第 2 回FD·SD委員	2020年10月28日(水)	・全学 FD 研修について
会&教育開発セクシ		・2019 年度授業評価アンケート結果について
ョン合同会議		・ベストティーチャー賞について
		・2019 年度研修一覧について
		・今後の FDSD 活動について
第 3 回FD·SD委員	2020年12月9日(水)	・後期授業アンケートについて
会&教育開発セクシ		・12 月 16 日(水)開催 FD 研修(『監査意見書を踏
ョン合同会議		まえた本学の課題について』)について
		・保存動画視聴型研修について
		・今後の FDSD 活動について

- *委員の負担軽減のため、報告書、情報交換等は、原則メーリングリストにて実施
- *公務出張等やむをえない場合を除き、全委員出席(オンライン参加有)

②実施状況

a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む)

2020 年度 FD 及び SD 研修 実施一覧

日時	事業名	概要
2020年4月8日	FD·SD 研修会	購買管理システムたのめ一るの操作講習
	たのめ一る操作講習	
2020年4月13日	SD 研修	購買管理システムたのめ一るの操作講習
	たのめ一る操作講習(一般職	
	員向け)	
2020年4月14日	SD 研修会	購買管理システムたのめ一るの操作講習
	たのめ一る操作講習(購入担	
	当者向け)	

2020年4月14日	SD 研修会 購買管理システムたのめーる の操作講習 (承認担当者向け)	購買管理システムたのめ一るの操作講習
2020年7月3日	SD 研修会 新任教職員集合研修	学校法人船田教育会、管理運営体制、就業規則、 職場内ルール等について
2020年7月9日	SD 研修会 キャンパスプランポータルデモ ンストレーション及び勉強会	次期 LMS(Learning Management System)の検討について(NTT 東日本)
2020年7月20日~ 7月21日	SD 研修会 コンプライアンスについて 経営・財務状況について その他	「コンプライアンス」、「ハラスメント」、「情報セキュリティー」、「就業規則」、「服務」等について
2020年9月16日	SD 研修会 コンプライアンスについて 経営・財務状況について その他	「コンプライアンス」、「ハラスメント」、「情報セキュリティー」、「就業規則」、「服務」等について
2020年9月28日	FD·SD 研修会(外部) 宇都宮市創造都市研究センタ ー 第4回 FD·SD 研修会	「大谷石文化と創造都市宇都宮の形成について」
2020年11月11日	SD 研修会 新任教職員研修	学校法人船田教育会、管理運営体制、就業規則、 職場内ルール等について
2020年11月25日	FD 研修会 「遠隔授業」の質的向上を目 指した FD 研修会	「本学における遠隔授業の実態」 発表者 西谷 健次 先生 「遠隔授業の実践例」 発表者 高浜 浩二 先生 発表者 花田 千絵 先生
2020年12月16日	FDSD 研修会 「監査意見書」を踏まえた本学 の課題について	本学の運営状況等について

2020 年 12 月 24 日	FDSD 研修会	「障害のある学生の支援について」
~2021年1月8日	「障害のある学生の支援につ	発表者 兪 幜蘭 先生
	いて」	
2021年3月24日	新学習支援システ「WebClass」	「WebClass」の基本的な操作方法の説明について
	の操作方法説明会	説明者 日本データパシフィック

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取り組み状況
- ・学生による「授業アンケート」の教員個人データ公開による意識向上
- ・「授業評価アンケート」による「ベストティーチャー」の表彰
- ・「遠隔授業」に関する研修会の実施によりオンライン授業の質的向上
- ③学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケート

実施期間	事業名	概要
2020年7月27日~8月	2020 年度前期	学内情報システム(テクミン)によるアンケート方式
7 日		設問数 15 問
		集計及び印刷は本学にて実施
2021年1月5日~1月	2020 年度後期	学内情報システム(テクミン)によるアンケート方式
18 日		設問数 16 問
		集計及び印刷は本学にて実施

- b 教員や学生への公開状況、方法等
- ・学生による「授業評価アンケート」の集計結果(個人データ)を学生に開示 ファイルを図書館及び、情報センター、教務課カウンターへ設置し、自由閲覧とする。
- ・全体集計結果を大学ホームページへ掲載。

http://www.sakushin-u.ac.jp/ec/page.php?id=553#cttl-inner

設置の趣旨・目的の達成状況

(1) 設置の趣旨

人間文化学部は平成14年の学部設置当初より、学外から「様々な領域があるのは分かるが、何を軸にして学部の教育を行っているのか外から見えにくい」という指摘を受けてきた。「人間文化学部」という名称、また「心理学、社会学、言語文化の三領域から人間と文化を複合的に研究し、地域社会に存在する様々な課題を見つけ、解決できる力を持った人材を養成する」という学部の教育理念も、学外からの「総花的である」、「抽象的である」という誹りを免れ得なかった。とは言え、内部の教員は学生の教育に対して決して消極的ではなかった。1期生の卒業にあわせて、栃木県内唯一の心理学系大学院を設置し、臨床心理士養成に取り組み、平成24年には小学校教員養成に特化した「発達教育専攻」を新たに設置し、従来の「心理学、社会学、言語文化」領域を「人間文化専攻」とした。大学院に進学した卒業生の中からは臨床心理士の資格を取得した学生も多数現われ、本採用・臨時採用も含めて教壇に立つ卒業生も輩出している。また1期生は30代半ばとなり、就職したそれぞれの場で中核を担いつつある。

学部の教育内容や方法に誤りが無かったという自負はともかく、「良いものは自ずと伝わる」「分る人には分る」といった態度はやや傲慢であったと反省せざるを得ない。学部の教育・研究内容を分かりやすく学外に伝えるという営為は、高校生を中心とした学習の機会と場を求めている人々へその選択肢と可能性を示し、提供する重大な責務である点を忘れてはいけない。

そこで、学部の教育内容を学外へ分かりやすく伝える、いわゆる「見える化」を図るために、平成28年度には「人間文化専攻」を「心理コミュニケーション専攻」へと名称を改め、「発達教育専攻」とあわせて、教員養成と心理学を中核とした学部であると、強調するようにした。あわせて、従来の「社会学・言語文化」の二領域についても「コミュニケーション」という視点に立って、大幅な開講科目の整理・精選化を果たした。今回の「発達教育学科」「心理コミュニケーション学科」という2学科体制への改組はその「見える化」を強化発展させるものである。

「発達教育学科」においては、小学校を中核として、①小学校教諭一種免許状、②小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状、③小学校教諭一種免許状と中学校・高等学校教諭一種免許状(国語)を取得し、地域社会の教育に貢献する人材の育成に注力する。「心理コミュニケーション学科」においては、従来の臨床心理士とあわせて、今後国家資格化される公認心理師の受験資格取得を目指した教育に注力する。さらに心理学とコミュニケーションツールとしての「社会学・言語文化」を学んだ学生を、地域のソーシャルサービス(福祉分野に限らず、公務員、一般企業も含めたより広い意味で地域貢献が果たせる)を担える人材として育成する。

現在、栃木県央及び県北地域で小学校の教員養成課程は宇都宮大学教育学部にしかな

く、地方私立大学としての本学に発達教育学科を設置し小学校教諭一種の免許状を取得できるようにすることは地域社会の要望に応えるものとなる。また、人間文化学部は特別支援学校教諭一種免許状が取得できる栃木県内の数少ない大学学部の一つであり、今日需要が高まっている障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズにこれまで積極的に対応し、地域社会に貢献してきている。

また、前述の如く、人間文化学部は栃木県内唯一の心理学系大学院を設置し、臨床心理 士養成に取り組み、地域社会からその教育成果について認知されている。現代社会におい て学校、職場、家庭、地域など、さまざまな場面で「心の問題」を抱える人が多くなって いる。臨床心理士のみならず、国家資格化される公認心理師など、いわゆる「心理職」の 社会的ニーズは今後ますます高まっていく。心理コミュニケーション学科は、そのような 社会の要請に応える人材育成の一翼を担うものである。

(2)養成する人間像と修得させる能力

新たに改組する人間文化学部(発達教育学科・心理コミュニケーション学科)は、自ら主体的に学び、自主的に自らを律して行動できる人材を育成することを教育理念としている。その実現に向け以下の能力を身につけ、「共通教育科目」及び「専門教育科目」に関する単位を修得した学生には、卒業を認定し、学士(人間文化学)の学位を与える。また、免許や資格の取得を希望する学生には、小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状(知的障害に関する教育の領域)、中学校教諭一種免許状(国語)、高等学校教諭一種免許状(国語)、司書教諭資格、図書館司書、認定心理士、公認心理師受験資格、ITパスポートなどの取得を積極的に支援する。

(3) 令和3年度入学者数と今後の課題

令和2年度入学者数は、人間文化学部全体では81名と昨年比△30であった。5月現在の学科別の在籍者数としては、発達教育学科31名(入学定員50名、充足率62%)、心理コミュニケーション学科50名(入学定員50名、充足率100%)である。令和二年度には二学科ともに入学定員を充足(充足率114%)できたものの、令和2年度に実施された入試においては様々な社会情勢の影響もあり低調に終わってしまった。ただ社会情勢による影響はどの大学においても同じであるわけなので、それを言い訳にせず、今後も、教育内容をより明確に伝え続け、就職率、教員採用試験の合格率を少しでも上げ、発達教育学科、心理コミュニケーション学科ともに、目的意識の高い入学生の増加につげていきたい。

入学後は学生へのサポートとして、資格の取得を支援し、就職率の向上を目指す。あわせて、入学後に志向が変わってくる学生に対しても、本人にあった卒業までの学習の支援、就職の支援に努める。今年度も新型コロナウィルス感染症の影響が続くものと予測される。一時期の混乱は見られなくなったものの、いまだ学生、教職員ともに不安定な状態であるのは否めない。こういう時期だからこそ、これまで以上に個々の学生と教員・大学と

のつながりを密にし、学習や学生生活を支援できるように努める。